ビークラブ・スペシャル—⑫
スーパーマテリアル
スケバン刑事III 少女忍法帖伝奇
SUPER MATERIAL

ビークラブ・スペシャル―⑫
スーパーマテリアル

スケバン刑事III 少女忍法帖伝奇

SUPER MATERIAL

風間　唯

浅香　唯
YUI ASAKA

そして、彼女も伝説の少女
三代目　麻宮サキとなった……

撮影取材／高瀬ゆうじ
最終回撮影取材／中島秋則

協力・東映、フジテレビ、六本木オフィス
デリッシュカンパニー、IVS音楽出版
東京宝映テレビ株式会社、橋本俊雄

構成／Be-Office
取材／会川昇、三牧哲二

この世を滅ぼさんとした
悪魔と闘った一人の少女、風間 唯
彼女は多くの人の愛を支えとして
人間を越えた力を体得した――

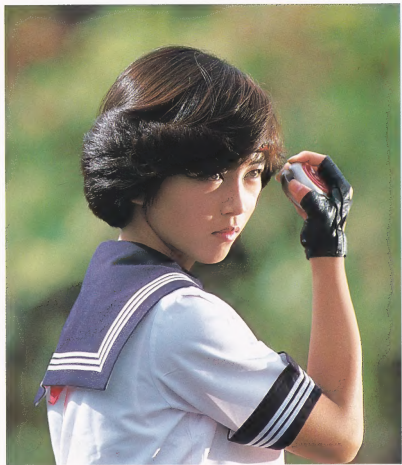
三代目スケバン刑事、麻宮サキ！　またの名を
風魔鬼組頭、風間唯!!　陰をあやつり、この世を邪悪の
闇に包もうとするきさんを許すわけにはいかん!!

風間唯、風魔鬼組頭、風間小太郎と奈津の間に双生児の妹として生まれた。姉の名は翔。二人の赤ん坊の額に、梵字がうかびあがった。梵字そのものは風魔の証であるのだが、額の梵字は〝ヴァジェラ〟を手に入れる者のしるしであった。この事を知った果心居士は翔を連れ去ってしまう。唯が助かったのは偶然にも梵字が消えたからで、この時から唯はいずれ果心居士と戦わなければならない運命となった。

奈津は実の父である宮崎県大日村・達心寺の帯庵和尚の元へ唯をあずけたものの、陰の忍者によって殺されてしまった。陰星があらわれる運命の年が来るまで、唯は寺に捨てられていた捨て子として育てられた。

陰星が輝く時、天下麻のごとく乱れるという……その陰星が百八十年ぶりに出現した。それと同時に陰の忍者が動き始めた。陰はやがては日本を、いや世界をも滅ぼそうとしている。暗闇指令は帯庵の元を訪れ、宿命の子唯を東京へ向わせるように頼んだ。

鎖帷子つきのセーラー服を着込み、鉄製の手甲と陣鉢を風呂敷包みにしまった唯は、まだ見ぬ父と二人の姉が持つ東京へ旅立つ。その車中で暗闇機関のメンバーである城戸礼亜より、スケバン刑事の武器である超合金製ヨーヨーを渡される。

かくして、三代目スケバン刑事・麻宮サキを襲名した、風間唯の闘いの日々がスタートしたわけである。

果心居士、天輪聖王に変身する——そしてヴァジュラの剣は——

「悪と呼ばれた忍どもは、すべて天輪聖王に魂を売り渡し、反生、反克の道に生ようとした者達だった……彼らは世を乱し、戦をおこし、世界を邪悪な相に塗りかえ、やがて、すべてを破滅へ導こうとする」

↑果心居士にあやつられる異形の者達。長い爪で人間を襲う死霊である。

ヴァジュラとは善悪両刃の剣――大日如来の化身である唯の手に入れば、陰を再び闇の世界に封じ込めるであろうが、果心居士の手に落ちようものなら、陰が天下を取ってしまうという。
　唯がヴァジュラを手にするためには、三明という宿明通、天眼通、漏尽通の三つの通力が一体となった力、〝トゥリ・ヴィドゥヤー〟を得なくてはならない。
　宿明通とは自分と他人の宿世の生死の相を知る通力。天眼通とは自分と他人の来世の生死の相を知る通力。漏尽通とは現在の苦しみを知り、すべての煩悩を断ち切る通力である。
　唯は、一度はトゥリ・ヴィドゥヤーを得たものの、気の迷いからその力を果心居士に奪われてしまう。

陰をあやつる果心居士。陰星の出現する時を待って何百年と生きながらえた怪老人である。その陰星が満月の中央に位置した時、果心居士は天輪聖王に生まれ変わるという。
　真赤に燃えあがった月が白熱した瞬間、月のまわりに光の輪が出現した。これぞ天輪である。その赤い光に包まれた時、果心居士のしわだらけの皮膚がボロボロとはげ落ちて行く。その下からあらわれたのは、雪女のように不気味な美しさを持った女の姿だった。
「ついに、われ天輪聖王となれり……ヴアジュラを手にすれば全宇宙に、われの力に勝る者なし！」
　天輪聖王に変身を遂げた果心居士はヴアジュラの剣に手をかけた。

←山頂に出現したヴァジュラの剣――トゥリ・ヴィドゥヤーという力を得た者のみが、手にすることが出来る。その威力は全世界を支配するほど強大なものであるという。今、ヴァジュラの剣は天輪聖王の物となった。

「……光と闇を分かつ剣ここに封印す。天より光を受けし者、ふたたび、この剣を抜きて総てを治むる……」

ヴァジュラの剣は、言い伝えによれば、この世の光と闇を自在にあやつるもので、この剣を手にした者は、世界を闇に閉ざすことも出来るわけだ。今、天輪聖王となった果心居士は、世界を闇に包んで、陰の天下にしようとしていた。

→人間の愛をかけて天輪聖王に挑もうとする唯。今、そのヨーヨーに天はヴァジュラの剣より、もっと強力な力を与えてくれた。

唯は決意した。自分の美しい心…人間の愛こそが、この世でもっとも力強い武器となるのだ。トゥリ・ヴィドゥヤーを失って、生きた大日如来でなくなっても、一人の人間として天輪聖王に挑むことを。

ヴァジュラの剣を空にかざして天輪聖王が勝ちほこったように叫ぶ。

「今こそ、全宇宙を闇に閉ざさん！」

そこへ、唯の声がかかった。

「この世を闇に閉ざすなど……わちが許さん‼ 人が許さん、天が許さん‼」

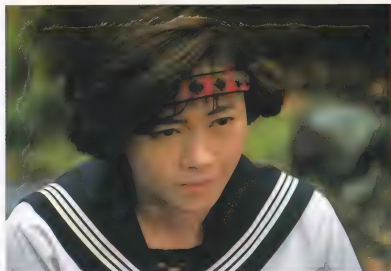
唯の怒りが天に通じたのか、天にものすごい稲妻が走り、唯のヨーヨーに落ちた。その瞬間、ヨーヨーに神の力が宿った。たとえ、その身を引き裂かれようとも、バラバラになった肉体をかき集めても天輪聖王を倒そうとする唯に神が味方したのだ。

「許さん……許さ――ん‼」

天の力を得て想像も出来ぬ強大な力を得た唯のヨーヨーは、ヴァジュラの剣をも砕いてしまった。そして、戻って来たヨーヨーを受け止め、天輪聖王めがけて最後の一投！　天輪聖王の胸に命中した瞬間、天をゆるがすまでの大爆発が起こった。

この世を闇に閉ざすなど……
わちが許さん!!
人が許さん、天が許さん!!

↓天輪聖王が倒れた瞬間、すさまじいまでの爆発が起きた。地に伏した唯はそのまま気を失ってしまう。辺りは何事もなかったかのような平和な風景へと戻った。

すべては終わった———陰をめぐる唯の闘いの日々は、ここに終止符が打たれた

「終った……」唯は、ぽつりとつぶやいた。突然の上京、そして父の死に始まった陰との戦いがここに終結したのである。
　この戦いで数多くの人達が傷つき、倒れていった。こうした多くの人達の愛に支えられて、唯は果心居士の野望を打ち砕くことができたのだ。
　唯の額に再び梵字がうかびあがることはもう、ないだろう。天の力を得た少女は、再び元の平凡な女子高生にもどったのである。
　唯は何も考えたくないほど疲れていたものの、その足取りは力強く確かなものだった。
　異形の者によって生死の危機にさらされた結花、由真、依田があたたかく唯の生還を祝福してくれることだろう。唯はこれからの幸せな毎日にむかって、胸をはずませるのだった。

スケバン刑事III

テレビではちょっと見れない撮影の Behind the Scene ……裏側

唯ちゃんはちょっぴりヨーヨーが苦手

スケバン刑事を演じるにはなんといってもヨーヨーのあつかいが、上手にならなきゃいけない。初代の斉藤由貴ちゃん、2代目の南野陽子ちゃんも大特訓してヨーヨーがうまくなったのだ。唯ちゃんは最初はこのヨーヨーがうまくあつかえなかった。撮影が始まったころは糸のかわりにゴムひもを付けていたことがあったそうだ。エピソードでも、ヨーヨーの腕が未熟でヨーヨー名人の滝雅也さんが演じる権佐に特訓を受けるなんて話があったりしたものね。でも、1年もスケバン刑事を演じているとヨーヨーがすっかりうまくなって10mくらいの距離をヨーヨーやりながら歩くなんてシーンもやってのけてしまうのだ。失敗してNGが出てもファイトでやりとげてしまう唯ちゃんの姿は感動モンでやんした。

←「エヘヘ、失敗しちゃった……」でも本番となると、うまくいく。さすが、主演女優のカンロクといった唯ちゃんでした。

←ヨーヨーの回転投げのシーン。唯ちゃんの脚線美に思わずカメラマン氏の手がふるえる…。

←撮影の合間にコーラで一息。お菓子もいろいろと用意してあって、ポリポリ、カリカリ……でも、太らないんだヨネ。

←唯ちゃんのあのヘアースタイルは、本番寸前まできれいにカールするように、ピンで止めてある。だから、ちょっとテレビで見るイメージと違うわけ。この日の撮影はコンサートの準備もあり、ちょっと髪を染めていたんだけどワカる。

撮影の合間に見せてくれる表情がこれまたタマらないんだよネッ！

唯ちゃんのどこが好きなの…と聞かれてもファンなら「ぜえん〜ぶっ」て答えてしまうだろう。とにかく最高なんだ、特に「ニコ、ニコニコ〜ッ」ていうカンジのあの笑顔がね。「スケバン刑事」だと学校や風間家のシーンぐらいでしか、そういった表情はおがめないわけだけど、天輪聖王との最後の戦いなんてHARDなシーンでも、撮影の合間に見せてくれる、なんてことのない表情がこれまたスバラシイのだ。こういった表情をビデオで発売してくれないモンかねなんて思ってしまったりして……。この日の撮影は御殿場の山中での唯ちゃんのスケバン最後の撮影日（9月10日）だった。それだけに天輪聖王との対決シーンを撮り終えて、田中秀夫監督からOKが出た時の唯ちゃんのうれしそうな表情ったらなかったな。自分が演じた風間唯と同じように、すべてがこの一瞬で終ったわけだから。でも唯ちゃんのSTARとしての道は、まだこれから大きくなって行くのだ。

スケバン刑事Ⅲ

テレビではちょっと見れない撮影の Behind the Scene……裏側

天輪聖王は
スケバンオーディション
グランプリの
小林亜也子ちゃん
なのだ！

あの、おぞましい果心居士が天女のような美女、天輪聖王に変身してしまったのだからタマげた人も多かったろう。スペシャルメイクによる変身シーンには驚かされたが、スケバンファンなら、思わず「おおっ」と言ってしまったのは、ナンノ主演の劇場版で加藤めぐみを演じた小林亜也子ちゃん（おしんと間違るなよ）が天輪聖王だったことね。むろんドラマ出演は映画出演以来のこと。亜也子ちゃんは神戸の女子高生なのだけど、ちゃんと学校へ通ってるからテレビへ出たりするのは難しいんだよね。この日の撮影も夏休みを利用しての参加だったわけ。

映画の時もいっしょだった田中監督や装飾（小道具）の橋本俊雄さんたちに、はげまされて天輪聖王の役に取り組んでいました。衣裳ばかりか顔の方もまっ白にメークされた亜也子ちゃん、素顔も美人のせいか、この世の物とは思えない美しさでした。でも、田中監督からは「雪女」なんて呼ばれていたけど。

テレビで見ると天輪聖王は輝いているように見えるけど、これは大きな鏡で光りを反射させているため。高い岩の上に立たされて、鏡でチラチラやられるんだから、「まっぶしい〜〜っ」て例のハスキーボイスで叫んでしまう亜也子ちゃんでした。

果心居士の佐川二郎さんは「キャプテンウルトラ」でハックを演じた俳優さん！

果心居士を演じているのは、どんな俳優さんなのだろうと興味を持った人はいない……これまたスペシャルメークのたまもので、佐川二郎さんは3回ぐらいに分けて4時間もかけてあの顔になる。綿や合成ゴムを使って、あのシワだらけの顔になるのだけど、優しそうなおじさんが、こんなオソロシイ顔になってしまうのであります。9話で陰の忍者ハヤブサを演じた中田博久さんが主役だった「キャプテンウルトラ」という特撮テレビ映画にハックという、もりもりボックンみたいなロボットが出てくるのだけど、この中に入っていたのが佐川さんなんだそうだ。そういえば、この番組じゃ小林稔侍がカイガラ宇宙人をやってたっけ！

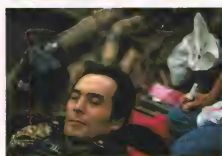
休息の時は衣装さんにすそをたくしあげてもらって、ハシャいでいた亜也子ちゃん。このサンダルはいてると足が[illegible]

大野剣友会の大竹さんのスタントはあいかわらずスゴイ！

田中監督の演出する回は派手な爆発シーンが多い。（来年公開の劇場版「スケバン刑事最後の戦い(仮)」が楽しみだなあ）最終回も、ご覧のような〝どっかーん〟シーンがあったけど、こんな危険なシーンを唯ちゃんがやるわけない。例によって、大野剣友会アクションスタジオの大竹さんによるスタントでした。

胴太抜が血を呼ぶ――魔破羅

↑魔破羅は果心居士に呼びよせられ、翔がヴァジュラを手に入れられるよう、協力することになる。初登場は第2部"魔界血戦編"32話より

←魔破羅役の堀田真三さんは、この手の悪役では有名な人。「仮面（スカイ）ライダー」のゼネラルモンスター、「アイアンキング」の不知火太郎、最初の仮面ライダーで、トカゲロンに改造されるサッカー選手といった具合である。まさに魔破羅はうってつけのキャスティングだ。

ヴァジュラを羽愚烈翔の手に握らせようとした果心居士は、もはやミヨズ、オトヒの二人では力にならないと、魔破羅を遣わした。魔破羅の腰にある胴太抜は多くの忍者達の血を吸ってきた魔性の剣である。

この暗黒の甲冑に包まれた魔破羅の正体こそ、結花・由真の本当の父親、小源太であった。風間小太郎には信頼のおける5人の部下がいた。その一人である小源太は翔と唯の誕生を祝福して家宝のヒナ人形を贈った。一対のヒナ人形は男ビナが唯、女ビナが翔のものとなった。やがては、このヒナ人形が、ヴァジュラの手掛りを示すものになろうとは誰も知る由は無かった。果心居士によって、男ビナと翔が連れ去られた直後、小源太は小太郎と共に果心居士を追いかけた。しかし、いかに風魔の里の強者といえども、居士にはかなわず、小太郎は深手を負い、小源太は行方知れずとなった。そこで小太郎は小源太の幼ない娘二人を引き取り、実の娘として育てあげた。実は複雑な風間三姉妹の秘密はこのようにして成立したわけなのである。

それでは行方不明となった小源太はどうして、風魔を裏切り陰の忍者となったのであろうか。小源太は道をあやまり、陰の巣喰う、魔幻の森へ踏み込んでしまったのだ。小太郎の遺品のひとつ錆びた苦内（短剣）の柄には忍者文字でこう刻まれていた「我れ、いつの日にか再び小源太と逢いまみえん。この刃を向けんがためであったとしても」

小源太は正と邪の二つの意志が邪にとりこまれるという魔幻の森において、陰にのみこまれてしまったわけだ。かつての友が、敵となって自分の前に現われることを予知した小太郎。その小太郎亡き後、唯が小源太を倒すのも宿命なのだ…たとえ、その小源太が結花、由真の父親であったとしても。

↑男性顔負けの殺陣をやってのけてしまう由真ちゃん。唯、結花、由真の３人は、全員アクションが得意。岩みたいに固い地面の上をころげまわるシーンでも自分自身でやってしまう。だから３人とも、スリ傷や打身が絶えない。こんなにガンバっているから、スケバン刑事IIIはおもしろいんだぜ！

魔破羅
その正体は
結花・由真の父
小源太

←「わーっ、ゴメンねっ」NGを出してしまって、監督さんやスタッフの人たちに手をあわせてしまった結花姉ちゃん。演技がうまく行くと、今度は自分で拍手してしまったり、とっても明るい性格なんですねぇ。

依田によって、実の父親の存在を知らされた結花と由真は決意した。

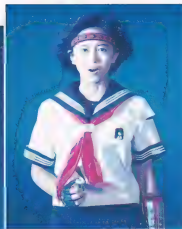
「私たちを捨てた父さんなら、会いたいとは思わなかった。でも……私たちのために戦って、今も苦しんでいるかも知れないから……たとえ、どんな所でも私は行くわ」

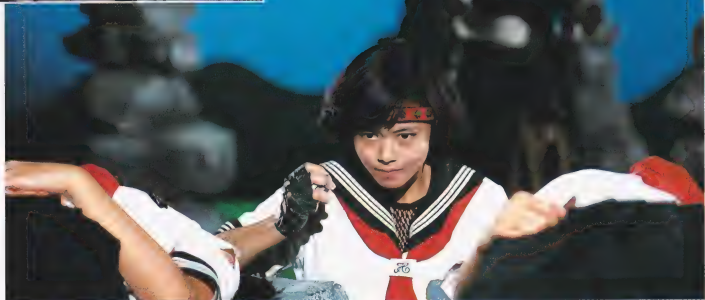
生きているかも知れぬ父、小源太を求めて結花と由真は魔が住むという森、魔幻の森へと分け入った。魔破羅の正体が、父・小源太と知って愕然となる結花と由真。果心居士は魔破羅に命令を与える。

「小源太、呑み込め、己が娘らを……そうすることよりほかに、お前の生きる道はないと知れ!!」

結花は悲痛に訴えた。

「私たちにあの人を救うことが出来るかどうか……それは分らない。でも、やってみたっていいでしょ？　だって、どんな姿でも……父さんは父さんだから」

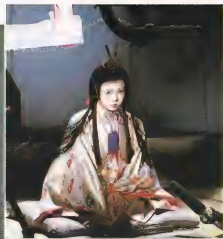
二人は邪の結界の炎の中に包まれた。

小源太さん安らかに……

魔破羅の硬い鎧は超合金製のヨーヨーをも粉々に打ち砕いた。唯にとって、魔破羅を倒せる武器は無い！その時、父・小太郎の苦内が……。

結界に包まれた結花と由真は魔幻の森の中で眠り続けていた。二人はこの眠りから覚めた時、完全に陰の者となってしまうのだ。すでに、二人の身体からは風魔であることを示す梵字が消えていた。結花と由真を救うため森の中に踏み込んだ唯は魔破羅の口から驚くべき事実を知らされた。父、小太郎を殺すように命を下したのは自分だと言うのだ。

「あれは小源太さんじゃなか。姉ちゃんらの父ちゃんじゃなか……あれは魔破羅ちゅう鬼じゃ！　風魔の熱い血が泣いとる。魔破羅……きさんの身体ばたたきこわして、小源太さんの魂はこの手に取り戻しちゃるーッ‼」

怒りに燃えた唯のヨーヨーが魔破羅にぶつけられた。しかし、胴太抜は折られたもののヨーヨーも粉々になってしまう。その時だ！魔破羅の胸に小太郎の苦内がつき刺った。

死をもってしか陰から解き放されることが出来なかった小源太の死顔は、結花と由真を想う優しい父親のものであった。

翔と唯
二人の間に隠された重大な秘密とは……

羽愚烈(はぐれ)翔——陰の頭として君臨する謎の美少女。翔こそは赤子の時に果心居士によって連れ去られた風間唯の双生児の姉なのである。

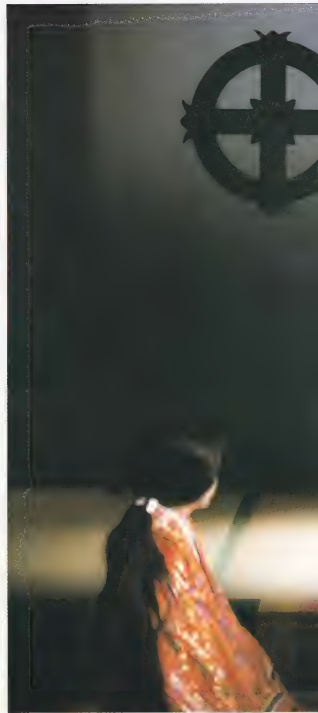
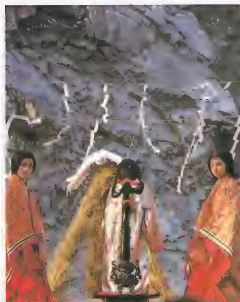
ならば、その歳は唯と同じ十七のはず……何故、幼児の姿のままでいるのだろうか？巫女(みこ)としての霊力を保つため十の少女の姿のままで陰の世界に生きてきたのである。

翔は陰の本殿である謎の部屋で、女官のオトヒとミヨズを従えて配下の忍び達を操って来た。だが、そんな翔といえども、しょせんは果心居士なる怪物に支配される身。自分の出生の秘密を知り、時空の狭間に落されて忘れかけていた過去を慕う心が、かすかによみがえった時に生きることは許されなかった。

薬師如来をあらわす〝バイ〟の梵字を抱く少女、翔はこの世から消えた。と同時に風間翔の魂は妹・唯の身体にのり移った。唯の梵字はこの時、〝カーン〟から〝アーンク〟(大日如来）に変化した。

翔もまた、宿命の子として生まれなければ唯と共に双生児の女子高生として平穏な日々を送っていたに違いない…。

この翔はな
子供であって子供ではない

スケバン刑事III

テレビではちょっと見れない撮影の Behind the Scene ……裏側

唯の持つ女ビナ、そして翔の持つ男ビナにはこんな秘密があったのだ

↑男ビナの背には、唯をあらわす"カーン"の梵字があった。このことから男ビナは本来、唯のものであったことが判明したわけだ。

←翔が持っていた男ビナ。本当の持ち主は唯。翔もこのヒナ人形にヴァジュラの謎が隠されていることには気が付かなかった。この男ビナにはヴァジュラの手がかりとなる宿明通がある。

「スケバン刑事III少女忍法帖伝奇」では雛(ヒナ)人形が重要な小道具となった。唯が翔の女ビナ、翔が唯の男ビナを持っていたので、何やらややこしかったけどね。このヒナ人形が画面に登場したのは第1話が最初。そして、第4話で家出した唯が、あのボロッちい、机の上に置き忘れていったのが懐かしい。結花はこれを見て家の焼跡から見つかった親父のアルバムにあったヒナ人形の写真で、唯が小太郎の子（この時は本当の姉妹だと思った）と確認したわけだ。それにしても、このヒナ人形にヴァジュラの剣のありかをしめす、とんでもない秘密が隠されていたとはね。唯にとって子供の時から、母と本当の姉、翔のぬくもりを感じられたのはこのヒナ人形だけだったのだ。

←唯の持っていた女ビナ。こっちは翔のもの。(これがヤヤコシイ)女ビナには漏尽通があり、これに勝知寺にあった天眼不動明王像の天眼通が加わり、ヴァジュラの剣が出現した。出現する場所をあらわした古地図も、この女ビナの胴の中にあった。

翔につかえる二人の女官オトヒとミヨズは、翔といえども、しょせんは果心居士に道具としてあやつられていることに気付いてしまった。そのために魔破羅の胴太抜で切り殺されてしまう。オトヒだけは、なんとか逃げ出し唯にかけられた天妖の術を解く方法を教えて死んでしまう。思えばオトヒとミヨズも悲しい運命に生きた少女たちだったわけである。

オトヒは布を投げて相手をからめとり、ミヨズは含み針を得意技としているようだ。オトヒは始めのころのシナリオでは、オトヒメという名前になっていた。

ところで、画面のイメージと違ってプライベートな表情の陰三人娘（オッ、なんという言い方だ）って、かわいいでしょー

翔の林 美穂ちゃん オトヒの森村聡美ちゃん ミヨズの屋敷かおりちゃん 素顔はすっご〜く かわいいのだ

ミヨズ

オトヒ

←十二単衣の下は翔、オトヒ、ミヨズともに結婚式場の巫女さんのような格好をしている。美穂ちゃんのピンクのズック靴がいいね。

林 美穂ちゃんは
はなまる チェック
CHECKの美少女なのだ!

それでもって、「スケバン刑事III」のもう一人の主人公ともいえる、〝謎の美少女〟である翔を演じていた林美穂ちゃんの素顔をおがみたいと願った人もいるだろう……キミの期待は裏切らないゾ！　ここでは、ちょいとスケバン刑事のことは忘れて、林美穂ちゃんと遊んでみることにしよう。

目ざとい人なら憶えていたかも知れないけど、美穂ちゃんは第1作のスケバン刑事で斉藤由貴の少女時代を演じていたんだよ。もっと古いことを憶えている人なら、「勝手にカミタマン」（'85年）の根本マリ役がデビュー作だったこと知ってた!?

MIHO HAYASHI

from 美穂ちゃん

え〜と、本名も林美穂なんです。生まれたのは昭和52年1月19日生れ。身長は140センチ、体重は33キロ。靴のサイズは23センチ…ちょっと大き目じゃないかって、へへへこれから、もっと背の高い美人になるショーコだモン。B・W・Hは……だって?!

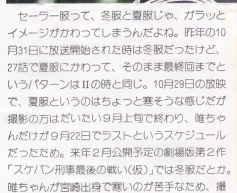
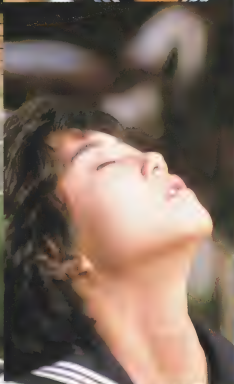
生まれた所は千葉県の浦安市。東京ディズニーランドが近くにある、すっごくゴキゲンな町。特技はクラシック・バレエ…翔の役って十二単衣（竹取物語みたいでよ）着てるんで動けないの、だから、もっとアクションや踊りのある役にもチャレンジしてみたいなァ。

趣味はね、書道と手芸編物。今、ベストとマフラーを製作中だけど、男の子に作ってあげてるんじゃなくて、大好きなパパとママへのプレゼントなんだ。

好っきな食べ物はクレープ、ハンバーグ、ぶどう。嫌いなのはピーマンとトマト。

スケバン刑事では斉藤由貴さんの少女時代をやらせていただき、IIIではレギュラーの翔という大役をいただきました。東映、フジテレビのスタッフのみなさん、そしてファンの人たち、どうもありがとうございました。美穂はこれからも、がんばりま〜〜す。

（所属／東京宝映テレビ株式会社）

唯の表情をおっかけてみたぞ

セーラー服って、冬服と夏服じゃ、ガラッとイメージがかわってしまうんだよね。昨年の10月31日に放送開始された時は冬服だったけど、27話で夏服にかわって、そのまま最終回までというパターンはIIの時と同じ。10月29日の放映で、夏服というのはちょっと寒そうな感じだが撮影の方はだいたい9月上旬で終わり、唯ちゃんだけが9月22日でラストというスケジュールだったため。来年2月公開予定の劇場版第2作「スケバン刑事最後の戦い(仮)」では冬服だとか。唯ちゃんが宮崎出身で寒いのが苦手なため、撮影は11月を中心に行なわれるようだ。

夏の日の風間三姉妹

星流学園の校舎として撮影に使われている建物は、埼玉県浦和市にある浦和学園高等学校だ。そこに看板を付ければ、はい、星流学園にへ・ン・シーンというワケなのであります。でも、ここはロケ地としてはちょっと遠いので校舎のみしか出てこない場面では比較的、東映の撮影所に近い日大芸術学部を借りることが多いようだ。ここはIIの野獣組のエピソードや恭志朗のお立ち台としても有名な所。ついでに説明しておくと、学校の制服を東映に提供しているのは、鳩サクラ学生服というメーカー。（タイトルでおなじみ）染山高校と胸のバッジ以外、区別がつかないのは、この会社がIIでも協力していたためなのだ。

南国宮崎育ちの唯ちゃんにとっては、夏はいっちゃが季節なのだ。

↓セーラー服のリボンを結んで、さあ本番。後ろに手を回したしぐさが、色っぺえ結花姉ちゃん

↓熊役の小林栄次くんをなんとか、おぶってみようとする唯ちゃん。「やっぱし、重いなあ……」でも画面の中では由真姉ちゃん並みの怪力で熊をぶんなげたりしていたのにね

つま恋

スケバン刑事フェスティバル Graffiti

バスツアーで、つま恋村（静岡県掛川市）のスケバンフェスへ参加した人は８月30日、当日の出発だったけど、３人娘は前日の８月29日に東京を出発していたのです。ナゼかって……そりゃあリハーサルとかいろいろあるものね。これは、その密着ドキュメントなのであります。

8月29日AM10:00　新宿を出発。

↑午前９時45分、スタッフ・出演者は新宿駅西口・安田生命ビル前に集合。ここはテレビや映画のスタッフが集合場所によく使う場所なのです。

↑バスの中では３人娘は食べたり歌ったりで大ハシャギ。この後ろの席では大野剣友会の岡田勝さんが静かに（？）歴史小説を読んでおられました…ハイ。

↑唯ちゃん、結花ちゃんはメガネをかけたりして、変装のつもりですか…でもスケバンファンなら、すぐにワカってしまうもんね。

↓バスは一路、静岡県掛川市のつま恋へ。最初に立ち寄ったのが中井Ｐ・Ａ（パーキングエリア）。ここでは唯ちゃんだけは降りずに、結花ちゃん、由真ちゃんがお菓子やドリンク類を買っておりました。結花ちゃん、何やらうれしそう……。

↑フライドポテトを買ってしまった由真ちゃん、そうそう由真ちゃんはフライドチキンが好物でしたっけ…でも、ナゼかおすましであります。

●バスの車中から、このゴーカート、グラススキーで遊ぶ3人娘、そしてリハーサル、ステージの様子まで収めたビデオが、発売元フジテレビ、販売ポニーキャニオンで発売中。スケバンフェスへ行った人も行けなかった人も絶対に買うべしのビデオなのだ。60分Hi-Fi STEREO 定価7800円。（V78M8199）

↑二度目に立ち寄ったP・Aでは3人娘がそろって車外へ…特に唯ちゃんが、うれしそう……アレッと思ったら、なんとここのP・A、由比っていうんですよ〜っ。駿河湾に面した美しい景色がすっかり気に入ってしまった唯ちゃん。将来はココに住みたいなあ、なんて思ったかどうかは定かではありません。このスケバン・フェス、3人娘がそろって行なう初めてのイベントだし、唯ちゃんにとっては初のコンサート（!）なのです。さて、どうなることやら…唯ちゃんの胸の内はドキドキだったはずなのですが、そんなことは表情にも出さないで元気いっぱいにビデオの撮影に応じていました。

つま恋到着!! まずはゴーカートだ!

PM2：00に〝つま恋村〟へ到着。予定より１時間遅れてしまいました。さすが、総合レジャー施設の〝つま恋〟だけに、楽しいアトラクションがいっぱい。そこで３人娘はゴーカートとグラススキーにチャレンジすることになったのです。でも、そこは女の子。まずは着がえて、お化粧もなおしてからね…。

↑唯ちゃんと同じ、ＮＯ．６の車に乗りたい人は、つま恋へ行きましょう……。料金は１台７分で2000円（２人乗り）だそうです。

↑今度は由真ちゃん。ドヒーッ、カーブが曲れない。実は同行した本誌カメラマンの高瀬氏は唯、由真の２人にそれぞれ、ひかれそうになったのです……オソロシヤ。

↑車体ＮＯ．３、大西結花選手！　さすが長女のカンロク。華麗なコーナリングを見せております。結花姉ちゃんにはどんなクルマが似合うかなあ……。

←ビデオの撮影隊もゴーカートに乗って、こんな感じで3人のゴーカートを追っかけていたわけでした。

→つま恋にはゴーカートのほかに、一人乗りのレーシングカートもあります。(宣伝してしまった)3人娘は広～い、つま恋の中をゴルフ場にあるような電動カートに乗って移動していた。さあ、次はグラススキーです。

グラススキーに挑戦!

流行のグラススキー、でも要領は雪の上をすべるのとかわりないんだよね。シューズを借りて、その気になってはみたものの南国宮崎育ちの唯ちゃんはスキーはどうも苦手みたい。恐くて足が前に出ないよ〜っ、なんて言ってるうちに、由真ちゃんはスーイ、スーイと行ってしまったのです。「ぬっ、おぬしやるな!」

↓YUMAのマネージャー、星さんゴメン! スッピンの由真ちゃんを撮ってしまった。でも、あまりも可愛いかったんで……ゆるしてね。(カメラマンの高瀬さんより)

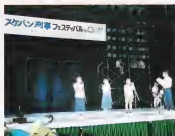
↑このグラススキーがやってみたいという人……用具のレンタル代込みで1時間、1000円とか。なに、3人娘の借りたシューズをはいてみたいって……アホ、このヘンタイめ!

in TSUMAGOI 8月30日リハーサル初日PM5:00〜9:00

↑スタッフの人のジョークに思わずニコリの唯ちゃん。「え〜、次は何やります」なんて

スタッフ関係者以外、誰も観ることができない、前日のコンサート。８月29日のＰＭ5：00からエキジビションホールで行なわれたリハーサルは、まさにそんなイメージだった。３人共、本番さながらに自分のレパートリーを熱唱していた。額に汗をうかべて歌う３人の表情は本番以上に感動的だった。着ているのは普段着でも、心はステージ衣裳なんだよね、うるうる。

↑ステージのイメージとは正反対な落ち着いた感じのYUMAちゃん

→エキジビションホールはガラス張りの全天候型多目的ホールとなっている。リハーサルが始まった頃は、まだ明るかったんだけど、段々、ナイトステージの雰囲気になってきた。なんだかファンタスティック……。

さて、次はアクションシーンのリハーサル（なんたって、スケバン・フェスですからね）大野剣友会アクションスタジオの岡田勝、上田弘司・両アクションクリエーターの指導の元にアクションの練習が始められた。からむはもちろん、テレビと同じ、大野剣友会のカッコいいお兄さん達でした。歌とおしゃべりに、このアクションと延々、４時間におよぶリハーサルを終えた３人娘。この後も宿泊先のホテルへ帰って台本の読み合わせなどが行われたそうです。さらに、３人娘だけで夜の２時ぐらいまで、翌日に初めて披露される新曲「Remember」の振りを考えていたりしたそうだ。それにしても、ヨーヨー、折り鶴、リリアン棒がなくてもビシッと決まるもんだねェ。

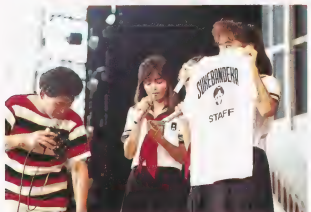
←すべてが明日の本番さながらに進行して行く。夜おそくまで３人娘の歌声やおしゃべりが、エキビジションホールの無人の客席にひびきわたっていた。

in TSUMAGOI 8月30日　リハーサル2日目AM9:00～

翌日も朝早くから本番（午後1時開演）直前までリハーサルが続けられていたのです。この日はスケバン刑事III最後の主題歌となる「Remember」の練習とアクションが中心。何度もアクションの練習をやるのは、少しでも段取りを間違えてしまうと大ケガをしてしまうことがあるからだ。リハーサルはホール近くのトレーニングセンターで行なわれたので、結花・由真はトレーニングマシーンで楽しそうに遊んでいたりしたよ。

←鶴拳のかまえをやって見せてくれた結花ちゃん。バレリーナみたいな優雅さがたまりませんね。ひい～っ。

in TSUMAGOI

8月30日PM1:10スケバン刑事フェスティバル開演!

←スケバンファンなら涙モンのグッズプレゼントがあって、もう最高。そう、そう会場では橋本俊雄さんが〝どっかん・うちわ〟を売っていたんだけど、買えたかな。

開演は予定より、少し遅れて午後１時10分。エキジビションホールにはバスツアー、当日売りの券を求めた人ふくめて3000人のファンでびっしり。おまけに会場は温室のような所なので、外の熱気とファンの熱気が合体して30度を越す、すごい暑さだった。そこにテレビの来宮良子さんのナレーションで、スモークの中から唯ちゃん登場。つづいて上手から結花、下手から由真が……。野戦服に身を固めた陰を相手の大アクションが展開されたのです。やっぱし、スケバン刑事はこうでなくっちゃね……。

年下の男の子♥

↑「湖畔の森」（かっこうの輪唱）やトークショー、お遊びコーナーとステージとファンが一体化した企画がいっぱいで、大ウケ。

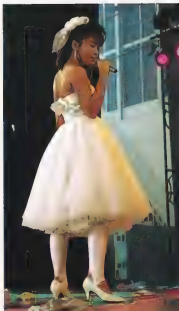
↑キャンディーズの「年下の男の子」でステージに華を飾る。

↑「STAR」、「ジレンマ」、「シャドウハンター」と３人がそれぞれのヒット曲を歌ってくれた。

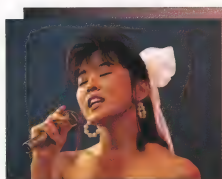
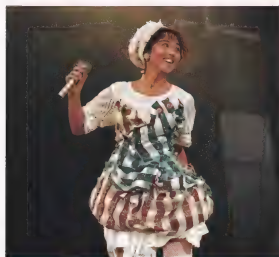
←黒のサングラスでステージにあらわれた由真ちゃん。客席に投げ返してしまったこのサングラス、ケイ・コーポレーションというメーカーの製品で、フレームの左に白で"3YU"の文字が入れられている。

↑客席にマイクを差し出す由真。歌っている曲は「パニック」

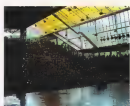
YUMA NAKAMURA

中村 由真

YUKA OHNISHI

大西　結花

白いバレリーナのようなステージ衣裳であらわれた結花。単独コンサートは経験ずみなのだけど、これだけ多くのファンを前にすると、ちょっぴりあがってしまう……もちろん曲は「哀しみのシャングリラ」。

↑最後は3人おそろいの白のミニスカートに、重ね着ルック。ここで、新曲「Remember」が発表されたのです。そして3人が消えると同時に、アンコールの大合唱が起きた……その後、会場のファンは奇跡の金色の涙を見たのだった。

↑アンコールでは、「ジレンマ」、「哀しみのシャングリラ」、「虹のDreamer」が……3人娘と3000人のファンが一体化した感動のステージに最初に涙を見せたのは由真だった……。

会場のファンは見た、伝説の金色(こんじき)の涙を……風間三姉妹

スケバン3人娘にとって最初で最後のコンサート。この感動をライブで味わえた人は、ホントウに幸せ者だ。だって、あの3人娘の金色の涙は、ファンとステージが一体化した時に見られた、まさに〝ヴァジュラ〟の奇跡に等しいものだったのだから。でも、その感動の十分の一でもいいから味わってみたいという人は、ビデオソフトを観てね。

ステージ終了後、3人娘は記者会見（すっごい取材陣だったんだ）を終えて、それぞれ専用の移動車（?唯ちゃんは白のマークII）で帰路についたとさ……。

般若・依田

唯が二人の姉といっしょに暮すようになった直後、星流学園に赴任してきたのが、英語の教師・依田である。依田のフルネームは不明。依田の許婚者・妻風澪のエピソードである第27話においても、その名は明らかにされなかった。

依田は風間姉妹の父たちと同じ風魔一族の忍者であるが、その腕をかわれて、暗闇機関のメンバーとなった。忍びの仲間からは、風魔鬼組の般若の異名をとる。風間小太郎、亡き後は鬼組頭を代行し、暗闇指令の要請を受けて、風間三姉妹の後見人となった。唯たちをきびしく、きたえるのも忍者の修業、そして陰との決戦に備えるためのトレーニングなのである。ちなみに般若とは仏教では諸事の本質を識別する最高の知恵をあらわす。依田が教師として、三姉妹の前にあらわれたのもこのような意味を持っていたからだ。

始めは般若の装束で、教師・依田と般若を使い分けていたが、第12話で正体を明らかにしてからも、三姉妹から般若の名で呼ばれることが多い。

暗闇機関の命令は依田を通して三姉妹に伝えられる。教師である依田が親のいない風間家を訪れることはカモフラージュになるのだ。三姉妹の中では、由真が後見人としての信頼関係を越えて、依田にぞっこんである。

↑普段はダンディーな依田も風間３姉妹の前に初めて現われた時は、このような時代劇顔負けの扮装だった。

↑依田の許婚者だった妻風澪は陰に心を売ったため、命を落とした。それを依田の裏切りと信じ込んだ妹のともみは復讐のため教師となって星流学園へやって来た。(澪とひろみは、山本博美が二役を演じた)

きみを風間家の夕食に招待しよう

コンバンはゴチソウよ……

撮影現場はナゼか？お菓子がイッパイ

↑ひいっ、すっぱい！差し入れのミカンに思わず口をすぼめてしまった由真ちゃんでした。（5話のロケで）

↑アッカンベーが、かわいい由真ちゃん。氷イチゴがおいしい！　目のまわりがタヌキみたいなのはメイクのせいですよ。（2話のロケで）

→3姉妹そろって、カルビーのポテトチップスですか……これは大西結花ちゃんがCFをやっていた関係でカルビー製菓さんから差し入れがあったわけなんです、ハイ。（一話）

↑食事のシーンは本番まで、ホコリがかからないようにラップに包まれている。(撮影所のスタジオ内は、とにかくホコリがすごい) それでも、ちょうどおなかがペコペコの唯ちゃん達はパクパクムシャムシャとやってしまうのです。アレッ?確かこの場面では唯ちゃんは気落ちして、ゴハンどころじゃないはずなんだが。

風間小太郎の死によって、住む家を失なった風間3姉妹は、暗闇指令から新しい家をあてがわれた。暗闇機関の援助は現物支給(依田が米やミソを届けにくるのかな?)で、現金は渡されず、小遣い程度の金は自分達でアルバイトして稼ぎ出さなければならないようだ。(小太郎の教育方針なのかいな?)家事は3人で分担しているが、炊事に関しては結花の役割となっているようだ。風間家の味は結花の味といってもよいのである。依田の言葉によれば「結花さんは、主婦としての才がありますねェ」ということになる。

これは、礼亜の死によっておちこんでいる唯をはげますため、結花が作った夕食のメニュー。第21話に登場した風間家の夕食シーンであります。チャン、チャン!

フ菓子、綿アメといった駄菓子屋さんで売っているようなお菓子が唯ちゃんの好み。でもケーキだってパクパクですよ〜〜っ。(右から2、7、8話)

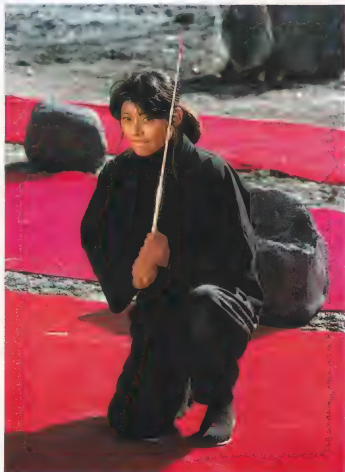
暗闇特捜官

多聞　菊子

元第一空挺団のコマンドであった多聞菊子は暗闇機関に属するエージェントの一人である。風間三姉妹はこの菊子と共に、陰の忍者の忍法修行地である土蜘寺を探るように命じられた。過去の陰との戦いで魔道衆の使う〝八門遁甲の陣〟にかかって、最も信頼するパートナーを失なった菊子は、仲間すら信用しない一匹オオカミであった。唯たちは、そんな菊子に反感を抱くが、見事な菊子の機転で新たにかけられた〝八門遁甲の陣〟を打ち破ることに成功した。

伊藤かずえ扮する多聞菊子は射撃の名手でその腕前は唯のヨーヨーをたたき落してしまうほどである。通称・ランダル銃といわれるウインチェスターM73ライフルのソードオフ(銃身と銃床を短く切りつめたもの)した物を愛用している。また、菊子の愛車は、〝キクコスペシャル〟とネーミングされた4WDである。

バックライトによるシルエットで陰のアジトに現われた多聞菊子の姿は、まさに女性版マッドマックスといった雰囲気だった。

城戸礼亜の死

礼亜は般若のムチをかざして、唯を救った。「わちはもう駄目じゃ…」絶望にひれふす唯。結花・由真も翔の結界から唯と心を開いた草の少女、東野成美を連れ出すことしかできなかった。

城戸礼亜　暗闇機関の女性エージェントで風間唯を上京以来、ずっと周辺から見守り続けてきた人物である。上京の際、ブルートレインの車中で超合金ヨーヨーを渡したり、星流学園転入後は図書館の受付嬢（司書か）として、忍者資料コーナーで、唯に忍術の勉強をさせていた。唯が由貴との対決で使った活殺指顎拳（骨指術）はこの忍者資料コーナーで学んだもの。

礼亜も唯と同じ風魔の忍者で、8歳の時に父から風魔としての宿命を知らされたという。そんな礼亜に死という運命が待っていた。

草(一般市民にまぎれこんでいる陰の忍び)の代表が、陰の頭領〝翔〟へ一年に一度、報告を行なうことがわかった。なんとか翔の正体をつきとめようと集会へまぎれこむ唯。だが、翔の霊力はすさまじく、唯がまともに渡りあえるようなものではなかった。その時、翔の小刀から唯をかばったのが礼亜だった。

皮肉にも小太郎の形身として風花良がもたらした、翔の手懸りである小刀によって礼亜が死んだのである。そして、唯はスケバン刑事として自分が何もできぬまま、礼亜を死なせてしまったことがつらかった。自信を失なった唯はスケバン刑事を辞めようとするが、唯のために千日ごもりの行に入った帯庵の姿にはげまされ、再び、陰と戦うことを決意するのだった。

スケバン刑事III

テレビではちょっと見れない撮影の Behind the Scene……裏側

福永恵規ちゃんがこの回でオシマイ……というのは、ちょっとさみしかったナ！

▸礼亜の髪はカツラだったみたいですね……福永はボーイッシュなショートの方が似合うモンね。

↑ロケバスの上から俯瞰で撮影している。出番がまだなので、見学中の結花と由真。

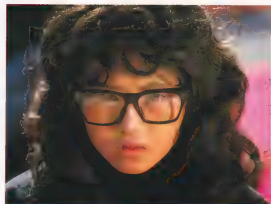
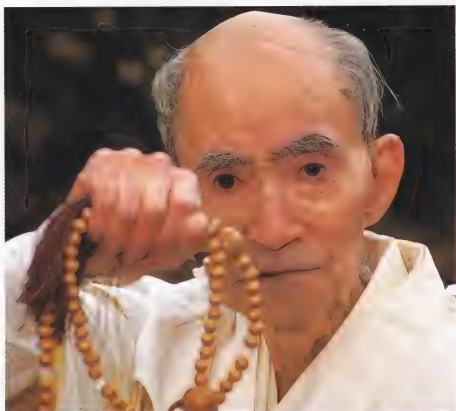
↑足元から出たコードは…？電気で火薬を爆発させて、血のりが吹き出る仕掛けになっているのです。

→東野成美役の石崎文也ちゃん。画面ではキツい表情（左）をしていたけどご覧のようにヒョウキンな美少女なのです。成美は幼なくして父が死亡、母が蒸発し養護院で育った。草としての血をひくことがわかり陰になったわけだが、唯によって心を開き風魔の里で新しい人生をやりなおすことになった。第40話でも再登場。

スケバン刑事IIIの登場人物は「スターウォーズ」を発想のヒントにしているものが多い。帯庵がオビ・ワン・ケノービ、依田がヨーダ（般若でハン・ソロか）、魔破羅がダース・ベーダーで、果心居士は銀河皇帝という所か。そして、礼亜はずばり、レイア姫というわけ。

おニャン子クラブの卒業生でスケバン刑事のレギュラーになったのはIIの吉沢秋江に続いて福永が二人目である。最初のIIIのテーマソング「ハートのIgnition」は福永が唱ってヒットした。

草の集会へ潜入した唯は　カールしたロングヘアにメガネで変装……う～ん、こうなると誰が見たって、唯ちゃんには見えない（ていうこともないかな？）翔の前で、パッと変装を取るシーンは、どこかの局の明智小五郎探偵みたいでカッコよかったナ。でも、実際の唯ちゃんは17話の階段のシーンの撮影で足に軽いケガをしたため、この20話あたりまで足をかばった動きの少ない演技となっていたようだ。（ケガはつきものの少女アクションドラマだから、この1年間はたいへんだった）

この20話の撮影も1月の寒い時期に行なわれたため、寒いの苦手の唯ちゃんは厚手のジャンパーとホットドリンクで体をあたためているのでした。

天輪聖王と大日如来の出現を三姉妹に告げた――――

老僧　海覚

何のために自分達は陰と戦わなくてはならないのか、そして陰という敵は本当に存在するのだろうか? そんな疑問を抱いた風間三姉妹を般若は、とある山中に住む海覚上人の元へ連れて行った。

海覚は三姉妹を宿命の娘とたたえ、天輪聖王に魂を売り渡した悪と呼ばれる忍者〝陰〟の存在を説明した。さらに、その陰と戦う正義の忍者が、梵字を抱く風魔の者であるという。百八十年に一度、あらわれるという陰星によって山現する天輪聖王、それと戦うのが三姉妹に課せられた宿命なのだ。

この時、唯は自分が大日如来の化身として果心居士に挑むなど想像もつかなかった。ところが、六道衆の夜叉女に海覚が倒された怒りから、人の生命をもてあそぶ陰に対して、闘志を燃やすのだった。この唯の人の生命を慈しむ心すなわち愛が、血という宿命(親兄弟が陰の草であったという事実)から陰にのみこまれた多くの草たちの心を開かせ、やがてはトゥリ・ヴィドーヤを失なってもヴァジュラに勝る力を持たせたのである。

この時はまだ、ヒナ人形に秘められたヴァジュラの謎、翔という双子の姉、結花・由真が実の姉ではないという事実、やがてあらわれる果心居士の存在はまったく判明しなかった。この第12話「明かされた風魔一族の宿命」で海覚によって語られた言葉が最終回まで一環した設定の伏線となっていた事に、いちばん驚かされたのは視聴者である私達自身であった。

↑海覚を演じたのは日本映画界の名優、加藤嘉さん。日本映画はどうも…という人でも「砂の器」ぐらい観ているでしょう。あまりにも長いセリフだったので、スタッフが持ったセリフを書いた紙を見ながら演技されていました。

唯のヨーヨーの師

権佐

ある日、唯は街頭でヨーヨー売りの叔父さんを見かけた。そのヨーヨー売りは巧みな技をいくつも持っていた。唯は技を教えてもらおうとするが、唯のヨーヨーを見た彼は「これは立派な武器だ」と言って教えてくれなかった。

唯は事件の際にあやまって由真にヨーヨーをぶつけてしまう……このままでは唯は人を殺してしまうだろうと考える般若。唯はヨーヨー特訓のため、山にこもらされた。そこで紹介されたヨーヨーの師は権佐といい、あのヨーヨー売りだった。ところが権佐はまたもや唯に技を教えようとせず、ボールを手首だけでつく訓練をさせたり、唯のヨーヨーを唯自身にぶつけたりする。しかし、その特訓によって唯は次第に手首に力をつけ、ヨーヨーの威力を加減出来るようになっていった。

↓ヨーヨーの師、権佐を演じた滝雅也さんは本当のヨーヨーの名人なのです。スケバン刑事では斉藤由貴の時からヨーヨー指導を担当している。権佐は40話で風魔結界の陣を作る時にも登場しました。

No.5

スケバン刑事III

テレビではちょっと見れない撮影の

Behind the Scene……裏側

冬のロケはとっても寒かったのだ

→由真ちゃんはガムをかんでいるのです。実は唯ちゃんもね……

スケバン刑事IIIは忍者物なので、人里離れた山奥といった設定の場所がよく登場する。といっても東京を起点とした場所で日帰り出来る所となると範囲も限定されてしまう。埼玉県秩父市の寄居は東映の特撮アクション物でおなじみの砕石場だが、スケバンIIIでは富士五湖の西湖の側にあるコウモリ穴や御殿場の自衛隊演習地にほど近いゴルフ場裏手の山等でロケが行なわれた。コウモリ穴は魔幻の森、そして御殿場が三姉妹が海覚上人と会った場所なのである。この撮影は、NANNO主演の劇場版が撮影中だった昨年12月。そりゃあ、モウ寒いのナンノって……。この日は三姉妹に般若の萩原流行さん、名優・加藤嘉さんもいらっしゃったので、大井組（建設会社じゃないゾ）の記念撮影となったのです。それにしても、たくさんのスタッフがいるもんでしょ。ロケバス2台、機材車やトラック、三人娘の送迎車（プロダクションの人が運転している）といった大部隊でロケへ行くんですよ。（PS．最終回の天輪聖王との対決場面もココ）

はぐれスケバンのお滝

天上院　滝子

↑セーラー服のスカーフを頭に巻いて、長手錠をかまえた滝子は、なんとも強そう…唯が負けそうだな。

スケバンIIIに登場した陰の中で、もっとも印象的だった女性キャラクターが、この天上院滝子であろう。「ビーバップ・ハイスクール2」に出演した中野みゆきちゃんが演したこのクールな美少女の魅力にうなったスケバンファンも多いことだろう。

唯たち風間三姉妹はある日、圧倒的に強いスケバンを見かけた。冷たい美貌を持つ彼女に魅せられる唯。数日後、この少女は星流学園に転校して来た。彼女の名は天上院滝子。はぐれスケバンの異名を持つ存在だった。

礼亜から滝子は陰の忍びかも知れないと知らされた三姉妹。唯は滝子を尾行するが、祖母の営む駄菓子屋を手伝う滝子は、ごく平凡な少女にしか見えなかった。だが、滝子はやはり陰の血を引くものだった。翔により額に梵字を抱く少女を探せと言いつかった滝子は風間三姉妹の由真、そして結花を襲う。

唯は滝子が得意とするのが水中戦と知り、忍びの水中術を覚えようとした。そして、ついに対決の時は来た。プールサイド闘う唯と滝子。最初は戦意が無かった唯だったが、滝子の長手錠による攻撃をうけるうち、ついに水中戦において滝子をうちやぶるのだった。滝子は唯の勝利をたたえ、忍びの掟にしたがって水中で爆死した。唯は壮絶な滝子の死にただなきじゃくるだけだった。

↑プールの撮影は西武池袋線大泉学園駅の近くにある大泉スワロー体育クラブの温水プールで行なわれた。撮影は3日間に渡って行なわれたのだが、前日の唯の水着シーンは撮り逃してしまった……残念と本誌カメラマンの高瀬氏。

風間三姉妹 誕生

過ぎ去りし日々の唯・結花・由真

スケバンでも、ごく普通の女子高生だった風間結花、由真の姉妹はある日、父小太郎から宮崎で育てられていた妹の存在を知らされた。「まさか腹ちがいの子っていうじゃないだろうな、おやじ!!」とふてくされる由真。

東京駅へ迎えに行くと、背中に唐草の風呂敷包みを背負い、〝風間唯〟と書いた大きなノボリを持った少女が待っていた。それが、風間三姉妹の最初の出会いだったのである。家路へ向う三人の眼前で家が爆発炎上してしまう。

唯はそのぬくもりにふれぬまま、父・小太郎を失なったのだ。風魔としての宿命——陰の忍びとの闘いはここから始まったのである。

陰にのみこまれ魔破羅となった風魔忍者・小源太の娘である結花・由真は育ての親となった小太郎より、幼ない時から様々な忍術を教え込まれていた。山で遭難した時、ジッとして清水のしたたりを得て生きながらえる方法、忍者の通信方法である飛火炬の意味——それらは何気なく実生活の中で忍者としての教育がされていたのだ。将来、必ずや訪れるであろう陰との戦いのために……結花の折鶴、由真のリリアン棒といった秘技もこうした実生活の中から、あみだされたものなのだろう。

唯が抱く梵字カーンは大日如来(不動明王)をあらわし、結花の左腕のタラ、由真の右太腿のタの梵字は不動明王に仕える矜羯羅童子と制吒迦童子を意味するものだった。これは風魔の里の滝の下に隠されていた三尊一体像によって判明した。風魔の長老は語った……

「陰星現われし時、陰星射る三人の戦士現われり……再び集いし時、戦士の頬伝う金色の涙に世は救われる」

結花と由真はこの時、自分達が〝唯を守る存在〟であることを知ったわけである。

天輪聖王となった果心居士を倒した後も、先に宮崎へ帰った唯といっしょに暮すことになったようなので、たとえ血のつながりはなくても風間三姉妹はかわりませんということで、メデタシ、メデタシなのであります。

この三姉妹の写真は1、2話（スケバンはほぼ2話ずつまとめて撮影された）のものと5話のもの。別人ではないかと思ってしまうくらいかわってしまうもんだね(特に唯はね)一年間という月日は本当に長いものだと感じてしまう。

風間 結花

YUKA OHNISHI

←第5話の死神小僧が使ったケン玉で遊ぶ結花ちゃん。「アタシの武器にしようかなあっ」だって。

星流学園にウラ番として君臨する結花は、進学のために総番の座を由真に譲ったのだが陰のカラテキッド練道武昭を救うため進級テストを放棄して留年となってしまった。そのため、19話以降は、唯が2年B組、由真と結花が同級で3年B組ということになる。ちなみに、唯が練道を助けに行ったら、唯は1年に留年、結花は女子大生となっていたのかも知れない。（これじゃあ、セーラー服は着られてなくなってしまうからね）結花といっしょにテストをぬけ出した熊こと山田熊之介もモチロン留年となった。

武器はステンレス製の折鶴。金と銀の二色の鶴をセーラー服のカラーの内にしまっている（たぶん）鶴拳の構えは華麗にして優雅。

家事、勉学とシッカリ者の長姉・結花だけに、父からの忍術教育はちゃんと身につけており、数々のピンチを忍術で切りぬけて来た。身長156cm、体重45kg、B80・W57・H84（大西結花のサイズに基づく）

風間 由真

YUMA NAKAMURA

↑寄居の岩壁をヒイ〜コラ言ってのぼる由真ちゃん。でも危険なシーンは右のようなダミー(?)がつとめていたのです。(この撮影の裏側は84ページを見て!)

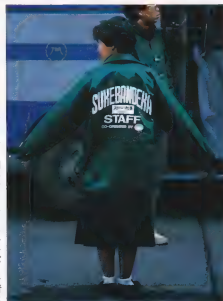
結花の妹で、星流学園の総番である。子分には同学園の番長グループ、熊、ヒデ、五郎らがいる。金と銀の2本のリリアン棒が武器で、どこに巻きつけてあるのかわからない(一説には胸ともいわれる)レース糸がスルスルと何mものびて、敵をまきつけたり、敵の武器をからめとったりする。また糸をつけず手裏剣のように編棒を投げることもある。(これはたぶん小太郎に教わったのだろう)まきつけた敵をひきたおすくらいだから、由真の怪力はすさまじい、もっとも唯はそれ以上なのだが。子供の時、父の忍術教育をろくに聞いていなかったため、由真の戦いぶりは力による所が大きい。ライバルの山下学園総番、太田涼子には得意のリリアン殺法を封じられたことがある。由真はかなりの〝ブッツン〟だが、唯はそれを上回る〝トッカン〟である。

身長162cm、体重45kg、B78・W56・H83(中村由真のサイズに基づく)

どっかーん、風間　唯です

古手川高校大日村分校にいたころは、自称〝九州一の大スケバン〟を名のっていた。それだけに目的に向かって、なりふりかまわず突き進む唯のサマは都会育ちの由真や結花にとって、ダサく見えるようだ。そんな唯につけられた表現が〝ドッカン〟。東野成美の心を開かせるため、成美と並んで荷物線の線路に寝ている唯（瞳にSTORMが主題歌になったスペシャル及び22話以降のEDでおなじみのシーン）を見て由真が言った「アイツ、ドッカンだから、列車にひかれたらどうなるかわからねェんだ」に対して結花は「まさかァ、それじゃドッカンとおりこしてズッコンじゃない」受けた。

身長153cm、体重40kg
B78・W54・H83（浅香唯のサイズに基づく）
ちなみに風間唯の誕生日は２月19日。15話がバースデーだったからね…。

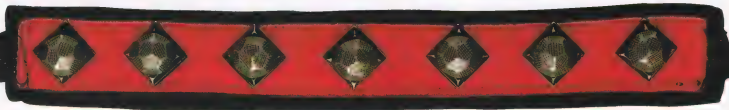
↑第６話で調査のため開平高校へ転入した唯のブレザー制服姿。ブレザーはこの回だけの貴重モンです。でも、これには手甲と陣鉢は似合いそうにもないね。

→スケバン刑事のスタッフジャンパーを着た唯ちゃん、スタッフ配布用の非売品。カラーはⅡの時が紺、Ⅲではグリーンだった。この他に一部の出演者用に特別に作られたものもある。映画版ではナンノ用に赤が一枚だけ作られたが、ナンノは赤い色が好きじゃないということで（天輪聖王の）小林亜也子ちゃんの所有物となったそうである。

スケバン刑事・小道具 壱 YUI 陣鉢・手甲

陣鉢

陣鉢は手甲と同じ赤のフェルト生地で飾りの鋲も手甲と同一の物だが、色は黒をベースに金となっている。以前のED(エンディング)の中で頭につけるのはヘアバンド式だったが、実際に使われているのは、このようにゴムバンドで頭にとめている。内側についているテープは鋲で額を傷つけないようにするため。（写真は原寸大）

↑額の梵字はスタンプで付けられる。唯のカーンが青、結花のタラ、由真のタは赤。これは陣鉢が割れて梵字が出現するシーンの撮影風景。

←ここに紹介した手甲は５本指かけとなっているが、これだとヨーヨーが握りにくいため、写真のような３本（親・子指を除く）指かけの手甲が多用されている。唯が手にしているのは、おなじみのヨーヨーペンダントだ。

実物大

手甲

手甲は表が赤、裏が黒のフェルト生地。銀色の部分は０・２㎜のアクリル板を着色したものを貼りつけてある。飾りの鋲は銀メッキ加工がされている。２ケ所に留め具が付けられている。撮影中に壊れることが多く、１年で15個ほどの手甲がダメになってしまったという。元々、冬服用だったので夏服の時は唯ちゃんの腕にガムテープを貼って固定したそうだ。

唯

スケバン刑事(学生刑事)が愛用する超合金製ヨーヨー

初代、二代目、そして浅香唯ちゃん演じる三代目とすっかりおなじみとなった、スケバン刑事ヨーヨー。市販のヨーヨーを改造したもの（糸とチェーンの2種）とコンパクトを2つ貼り合わせた〝桜の代紋〟があります。

スケバン刑事人気でかなりの数の海賊版(?)ヨーヨーが出回ったが、どうせ持つなら本物と同じものがいいと思うのがファン心理というもの。さて、キミも実物と同じスケバン刑事ヨーヨーを作って、学生刑事になりきってみるかな?

↓中央はBクラブがプレゼント用に製作したプラモデルのヨーヨー。

オリジナルスケバン刑事ヨーヨーの作り方

指導／橋本俊雄

スケバン刑事のヨーヨーは千森産業製のチャンピオンというヨーヨーに市販のラッカー系スプレーでグレーの下地に銀を塗装します。赤いプレートは2㎜厚のアクリル製です。これは専門の加工業者に依頼して作っています。プレートは両面テープでヨーヨーに取り付けて下さい。

↑権佐を演じた滝雅也さんの使っているヨーヨー。特製の品だそうだ。

折鶴

折鶴はステンレスの板を加工して紙で鶴を折る要領で作ったもの。ただ下面は壊れないように溶接してある。ステンレス板はシルバーなので金の方は塗装による。上下2ケ所にピアノ線を通す穴があり、それで飛ばしているわけだ。金属板なのは操演にはある程度の重さが必要なため。

YUKA

←Bクラブで試作したワンタッチで羽根が開閉する折鶴。撮影で使われる前に壊れてしまった。

結花

YUMA　リリアン編棒

リリアン棒は市販のリリアン刺しゅう用の編み棒をそのまま使用している。手芸用品メーカー〝クローバー〟の〝3／0ゴールド〟という製品。これは編み棒そのものが金メッキされているため、折鶴とは逆に金を銀の塗料で塗っている。糸はもちろん市販のレース糸だ。

由真

スケバン刑事・小道具

組み手投げ

第29話「小さな殺人者　唯晩に死す」で陰の忍者・百襲の配下が使ったのがこの〝組み手投げ〟という手裏剣。折りたたみ式の手投げナイフとでもいえるようなものだ。

ヴァジュラの剣

クライマックスを迎えたスケバン刑事IIIの鍵となる小道具がこのヴァジュラの剣。専門の造型会社に発注して作られたものでお値段の方は、なんと40万円とか！

全長は１ｍ20㎝ほどあるが、それほど重くなく、小林亜也子ちゃんでも軽々と持てるほどの重さだった。つかの部分は右の写真でわかるように、かなりぶ厚くなっている。それにしても、一対のヒナ人形に隠されていた秘密がこんな剣だったとはねェ。どう見たって、この世をこんな物で闇に閉ざせるとは思えないのだけど……まあ、そこはドラマだからねっ。

ボウガンとまきびし

陰のバイク軍団が使ったものでロケット矢を打つ。迎えるキクコスペシャルはまきびし爆弾を投下した！

風魔小太郎の苦内

小太郎の形身として残されたサビだらけの苦内（短刀）には忍者文字が刻まれており魔破羅と戦った唯のピンチを助けた。まさに小太郎の魂がのりうつった苦内である。

翔の短剣

10話で風花良（唯の初恋の相手）が唯に渡した小太郎の形身のひとつ。翔の手がかりとなる。

多聞菊子愛用のウインチェスターM73ランダムカスタム

ランダル銃は昭和30年代に放映されたアメリカテレビ映画、「拳銃無宿」（主演はスティーブ・マックィーン）の主人公である賞金稼き（バウンティハンター）の愛銃として有名になったもの。画面で使われたのはＭＧＣ製のモデルガン。いっしょにコルトＳＡＡバントラインカービンも用意されていたが、こちらの方は使われなかった。「拳銃無宿」でＳ・マックィーンが使用したのはM92のソードオフだったが西部劇の時代考証からいえばM73のソードオフであるべきなのだろう。M92をベースにしたモデルガンは東京ＣＭＣから出ていたそうだ。菊子の使ったランダル銃のモデルガンは現在も生産されているそうで、価格は11000円とか。橋本以蔵氏のシナリオではＳ＆ＷのM659も使うはずだった。

多聞菊子の4WD
キクコスペシャル

KIKUKO SPECIAL

多聞菊子と風間３姉妹が土龍町への道行きに乗用したのが、２ドアタイプのトヨタ製(?)ランドクルーザー、〝キクコスペシャル〟である。電子制御燃料噴射装置付きV８エンジン搭載、ボディは特殊軽合金の装甲で作られている。この究極の４ＷＤは菊子自身によって作りあげられたものなのである。

画面の中ではオートバイ軍団のロケット矢をうけても、そのボディはびくともしなかったばかりか、車体後方からまき散らされた特製マキビシで軍団を撃退してしまった。河床で魔道衆の奇襲をうけ、あえない最後をとげたものの、その最後は自爆装置による壮絶なものだった。

撮影に使われたキクコスペシャルは車体をシボルドーと白のコンビで塗り分けられたトヨタのランドクルーザー、車体各所にマーキングも入れられている。

↑画面では菊子役の伊藤かずえ自身によって運転された。そのライディングテクニックはなかなかのものだったとか？

→浜野宏くん製作の依田先生。出来の方は「まあ、よしとしましょう」

SUKEBAN DEKA お人形コレクション

Original Figure Collection

予備知識のない人のために説明しておきますと、『Bクラブ』という雑誌は模型専門誌なのです。それが、いつの間にか歴代スケバン刑事の手作り人形や小道具を紹介するようになってから、アイドル雑誌的なページが幅をきかせるようになってしまったわけです。

　ですから、この写真集のあちらこちらに、登場人物の後姿といった、フツーの写真集では考えられないような写真があるのは、人形や小道具を自作したい人のための資料というわけなのです。

　さて、これから紹介しますのは、バンダイが商品として発売したスケバン刑事人形（「週刊ポスト」等でオナジミ…かな?）から、読者の作品まで、手作りによる思い入れたっぷりのスケバン刑事たちなのであります。

BANDAI編

ソフトビニール製 風間3姉妹人形！

上と左が原型となった石井和夫さん製作による手作り人形。右が現在、商品として発売されているものです。（各3000円）3人共、ちゃんと武器がついています。セーラー服の下がどうなってるの……なんてヤラシイ事を考える人は、まずは買ったら！26cm。

夢の競演・歴代スケバン刑事

こんなシーンは映画でもテレビでも絶対にありえません（フジテレビならやりかねないけど）何せ、斉藤由貴、南野陽子、浅香唯のソロイ踏みなんですから。ナンノと唯はプラキャスト製フィギュアで発売（各1800円）されていますが由貴は非売品。各13cm。

小林亜也子ちゃんのフィギュアまで作ってしまったのだ

スケバンオーディションのグランプリとなった亜也子ちゃんもプラキャスト製の組み立て人形として発売中。制服の色を塗り間違ってしまったようだね、コリャア。（1800円）13cm。

こちらは和田慎二先生の原作版！

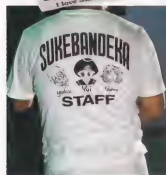
「花とゆめ」コミックス刊の和田慎二先生原作版の麻宮サキも立体化されているのです。原作のサキはGパンにノースリーブのタートルネックというスタイルが一般的ですが、こちらは鷹羽高校の制服です。「スケバン刑事」ファンなら、ぜひ全巻まとめて（現在は特装版の6巻本で読める）読むことをおすすめします。作った人は海洋堂の岸本馨さんであります。約13cm、非売品。

お好みで夏服もどうぞ

ボクは夏服の方がシュミなんだよね……なんていう人には別売り（1800円）で夏服があるのです。残念ながら3人娘のステージ衣裳まではないけど……

●このページに紹介されている商品のお問い合わせは〈0543-65-5362・B-CLUB通販部〉まで。

←↙上がBクラブが作った特製トレーナー（イラストな横井孝二くん）。下はスタッフ用の特製Tシャツ（イラストは橋本さん）どちらも非売品なので手に入らない…。

←ミニゲーム・シリーズの〝パーティJOY・スケバン刑事〟は、6通りの遊びが楽しめる。このゲームには全長20mmほどのミニフィギュアが6体ついている…えっ、7体あるじゃないかって…そう、中央の斉藤由貴は試作の段階でボツになったものなのだ。(1000円)

←装飾の橋本俊雄さんがスタッフとファンのために製作した特製うちわ。橋本さんのイラストで、〝ドッカーン〟と書かれているため〝ドッカーンうちわ〟と言う。つま恋で販売されたが、すでに品切れとか。今度は映画にあわせて、卓上用の〝ドッカーンのぼり〟を作ったそうだ。欲しい！

DEFORMED CHARACTER 編

ディフォルメ・スケバン大集合！

↓市販されているディフォルメフィギュアは上のパーティJOYのおまけと下の塩ビ製（消しゴム）人形だけ。こちらは自販機（ガチャガチャっていうヤツ）で売られているもの。カプセルに2個入って、左のようなシールが1枚入っている。人形は全部で12種類（2代目サキ2種、鉄仮面サキ、矢島雪乃、中村京子、唯3種、由真2種、結花、般若)、シールが21枚ある。「人形の種類はもっとあるんじゃないか」だって……それはですねェ、12種以外の初代サキとか暗闇、西脇といったものは、これを作った小林正典くんの自作によるものなのですよ。ただ集めるだけじゃなく、無いものは自分の手で作り出さなくてはモデラー（模型ファン）とはいえないのです。

風間唯

スケバンファンが作った手造りフィギュア編

①埼玉県の渡辺圭介くんの作品。Bクラブの1／12フィギュアのディテールアップ(改良)版です。(約13㎝)
②京都府の増田吉昭くん。これもBクラブ1／12の改造。8話頃のYUIをモデルアップしたものとか。(約13㎝)
③愛知県の中西唯滋くん。旧EDで鼻をすする唯ちゃんを製作。
④東京都の西脇一夫くん。約18㎝と大き目。腰のセンが色っぽいですね。
⑤新潟県の渋谷一彦くん。キリッとした唯の表情が決まっています。(約13㎝)
⑥アニメスタジオのアトリエ戯雅のスタッフが製作したもので、T社のファッションドール〝ジェニー〟に自作の首をつけたものです。
⑦東京都の緒方宗人くん。ブロンズ仕上げがなんともシブイ。天輪聖王から世界を救った風間唯だから、こんな銅像が建てられてもおかしくないね。
⑧佐賀県の武本有喜浩くん。約22㎝とこれまた大きな人形です。番組放送開始の頃の唯ちゃんをモデルにしているそうです。
⑨兵庫県の小林正典くん。6分の1という大きなサイズで、しかも衣裳がすべて脱がせられるという人形です。(残念ながら誌面ではここまでしかお見せできません)
⑩大阪府の浜野宏くん。リアルディフォルメの唯。78Pの依田先生を作った人です。
いやあ、どれも力作でしょう、よしなに!

スケバン刑事III DISCO Graphy

■サウンド・トラック

スケバン刑事III少女忍法帖伝奇
（フォーライフレコード、28K－131）

IIIで初めて発売されたサントラ盤。以前発売されたIIの時と同じくドラマ仕立てで、出演者の名セリフとサウンドで2倍楽しめるアルバムになっている。B面後半の構成がファンにとっては最高です。

スケバン刑事III少女忍法帖伝奇―完結編―
（ポリスターレコード、R30C－9002）

IIIのサントラ盤の完結編として発売。初回プレス分のみがサントラ初のピクチャーレコードになっている。

風間三姉妹限定ピクチャーレコード
（フォーライフレコード、29K－142）

何と1万枚の限定プレスのピクチャーレコード。主題歌及び挿入歌のヒット曲集になっている。

■主題歌（シングル）

一つの番組において、主題歌及び挿入歌のレコードが、これほど発売された番組も他に類を見ないのではなかろうか（主題歌5曲、挿入歌6曲）それだけでもこの番組の人気の凄さが伺える。

STAR　浅香　唯
（ハミングバードレコード、7HB－31）

ハートのIgnition　福永恵規
（キャニオンレコード、7A0639）

虹のDreamer　浅香　唯
（ハミングバードレコード、7HB－34）

瞳にSTORM　浅香　唯
（ハミングバードレコード、7HB－33）

Remember　風間三姉妹

浅香唯、中村由真、大西結花初めてのトリオ曲。作詞は湯川れい子、作曲来生たかお。一人づつ歌い始め、3人のハーモニーとなる部分が最高に良い。B面は唯の主題歌メドレーでおまけにおしゃべりまで入っている。（ハミングバードレコード、7HB－35）

■挿入歌（シングル）

シャドウ・ハンター　大西結花
（ポリスターレコード、D07C－1018）

ジレンマ　中村由真
（フォーライフレコード、7K－249）

チャンスは一度だけ　大西結花
（ポリスターレコード、D07C－1026）

シビアー　中村由真
（フォーライフレコード、7K－259）

哀しみのシャングリラ　大西結花
（ポリスターレコード、D07C－1028）

パニック　中村由真
（フォーライフレコード、7K－269）

田中組

撮影中はとても厳しい田中秀夫監督も撮影の合い間は3人娘の良き父といった感じ。でも、カントクの厳しい注文が飛ぶとガンバリ屋さんの3人娘でも涙がポロリなんてこともよくありました。

スケバン刑事　撮影の記録

三人娘はこんな危険な撮影を見事CLEAR(クリア)して来た!

ここにお見せしますのは第1話で、上京したばかりの風間唯が姉にからんできた不良たちと追いかけっコを演じるシーンの撮影風景であります。結花に〝山猿〟と表現されたように唯ちゃんは高速道路下の高いフェンス（男の人が支えてまだ届かないのですから、3mはあったのでは）ですら乗り越えてしまうのです。3人娘のアクションがどんなにすごいものか、その無台裏をのぞいてみましょう!

寄居の恐怖！ロッククライミング 由真はあやうく谷底へ…… ってなことはなかったが

〈ロケ名所紹介① 寄居〉

埼玉県秩父郡寄居町（ＪＲ八高線）の山中にある某セメント会社の砕石場。全体の景観はこのようになっている。

般若によって山中に閉じ込められた風間三姉妹。逃げる際に崖から転落する由真、唯のヨーヨーをロープがわりにして救出する一場面の撮影風影です。(第２話) 見下しただけで目もくらみそうな崖の斜面にしがみつく由真。しがみついているだけでもたいへんなのですが、ご覧のように手、足、腰など各所にパットを付けているのです。うすいセーラー服じゃ、すったり、ころんだりした時にケガをしてしまうからね。それにしてもクランクイン当初（１、２話は同時に製作された）から、こんな目に会うとは、由真もタマげただろうな。

スケバン刑事III 忍者用語辞典

アグニのぞう【アグニの像】地獄明王アグニを形取った神仏混淆の像。陰が信奉する邪悪な火の神で、この像のある所、必ずや陰の存在があるといわれる。(11話)

いおうがたけれいじょう【硫黄岳霊場】一年に一度、翔が草の代表から報告を受ける場所。唯はここで初めて翔の姿を見た。(20話)

いんじうちつぶて【印地打鉄礫】陰や草が使う小型の手裏剣。鍛鉄製にて、さしわたし一寸五分(約４・５ｃｍ)厚み３分（約１ｃｍ）の八角形、周囲を削り落とし刃をつけているので恐るべき殺人武器となる。この鉄礫が飛んできたら陰や草が周囲にいると思ってよい。

ヴァジュラのつるぎ【ヴァジュラの剣】光と闇を分かつ剣といわれる。言い伝えによれば、天より光を受けし者、ふたたびこの剣を抜きて総てを治むる…とあった。ヴァジュラという言葉が出たのは11話が最初で、その秘密が唯のヒナ人形にあるという事しかわからなかったが、24話で風間唯のニセ者、鳴戸新子（演ずるは昨年のオーディション入賞者の宮崎織砂ちゃん）が持ってきた不動明王像の中にあった古文書で、ヴァジュラが剣であることがわかった。このエピソードにはオードリー・ヘップバーンの「おしゃれ泥棒」を参考にした盗みのテクニックがあった。また、17話もヘップバーンの「ローマの休日」が脚本家の発想のヒントになったものとか…。

うらぬいのかがみ【裏縫いの鏡】外法衆頭・牛頭・馬頭という女忍者が使う風魔を封じる秘術。風魔地蔵組飛猿をこれで倒した。唯は〝ヨーヨー空中分解〟(ヨーヨーが空中で２

3人娘のスタントを専門にやっているのが大野剣友会の大竹さん。アクションの吹き替えは全部この人がやっているのです。撮影中には足場を作ったり土を掘ったりという力仕事もされるのです。ご苦労サマです。

えっ、唯ちゃんがこんな力仕事を……？？これもスタントの大竹さんの仕事です

セーラー服の下は、サポーターでがっちりガードされているのです

三人娘は全員運動神経バツグン。だからトランポリンや爆発といった危険なシーン以外は、ほとんどスタントマンを使うことはない。３人共、コンクリートや硬い岩の上だって、へいちゃらで転げまわったりしているからね。とにかく、あのアクションは吹き替えなしのホンモノの魅力なんだから。（ひじをうつといけないのでサポーターをつけてもらっている唯ちゃん）

梵字もメイクさんの仕事なのです——

３姉妹の体に浮き出る梵字。これはスタンプが作ってあり、これでペタンとやるわけ。（筆で修正したりするんだけどね）これら梵字をはじめ血などもメイクさんの仕事。サンメイクの木村さん、山田さんが交代で担当されていました。

↑中央のオジさんは装飾の橋本俊雄さんです。

↑疲れた表情の唯？実はこれもメイクなのだ。

高い所へ昇る時、お世話になりますハシゴさん

３人娘はホンモノの忍者というわけじゃないから、木や崖の上にヒョイヒョイと昇ってしまうことはできない。そこでお世話になるのが、スタッフの人が資材トラックで運んでくる金属製のハシゴ。カメラとフィルムさえあれば映画が撮れるわけじゃあないからね、スタッフの人は撮影の内容にあわせていろいろな物を用意して来るのです。

つに割れて二段攻撃をする、暗闇機関が開発した新型ヨーヨーなのか？）で見事、この術をうち破った。（25、26話）

おかたさま【お方様】果心居士の項を見よ。翔や魔破羅は果心居士をこう呼ぶ。

オトヒ　翔に仕える二人の女官のかたわれ。オトヒ、ミヨズでは翔をもりたてることは難しいと判断した果心居士は魔破羅を遣わした。魔破羅のやり方に反抗して翔をかばったため胴太技で切られるが、唯に翔が兄妹であることを告げて果てた。

かげ【陰】正しき道にそぐわぬ道、反生・反克の道に生きる者たちのこと。わかりやすくいえば悪と呼ばれる忍びの事。彼らは世を乱し、戦乱を起こし、世界を邪悪な相に塗りかえ、やがてすべてを破滅に導こうとしている。

かげぼし【陰星】１８０年に一度、あらわれる凶星。１９８６年、つまり昨年の6月にこの陰星が見えて以来、天下は麻のごとく乱れ陰の忍びたちが勢力をのばし、日本各地でさまざまな事件がひき起されて来た。

かげむしゃ【影武者】風魔では頭に影武者といわれるうりふたつの者をつけ、いざという時はその身代りになるようにしていた。ところが風魔小太郎の影武者・弥助は不覚にも小太郎の身代りになることが出来ず小太郎を死なせてしまった。その弥助も牛頭・馬頭から風間三姉妹を救って命を落とした。……そうなると今は唯にも影武者がついているのかな？

かしのほう【仮死の法】黒丸良也になりすました魔道衆緑覚の使った術。死んだふりをして唯に菊子をうたがわせようとしたセコイ奴。唯に「アホタレーッ」とヨーヨーをくらって吹っ飛んでしまった。（スペシャル）

かしんこじ【果心居士】陰を支配する怪老人。Ⅰの海槌剛三、Ⅱの信楽老に匹敵する三代目スケバン刑事最大の敵である。異形の者といわれる死霊をあやつることもできる。

かっさつしけいけん【活殺指頸拳】唯が図書館の忍者資料コーナーで読んだ忍術の本から学んだ骨指術のひとつ、親指で相手の首の頸動脈を締める技。依田にバツとして親指一本でバケツをぶらさげさせられたが、これがその力をひき出すことになった。由真との対戦で、使われた。（4話）

大井組

↓朝7時に東京を発って、8時にロケ地へ到着。早速、撮影の段取りをつける大井監督。ねむくて寝てしまったのではなく、海覚が倒れる場所の位置をカメラマンに確認しているのです。

〈ロケ名所紹介② 御殿場〉

62Pでも説明したけど、御殿場のロケ地はすごい所だ、正面の山には自衛隊のレーダーサイトがそびえ立っているんだぜ。

→11月5日からスタートした「少女コマンドーいずみ」の第1、2話は大井利夫監督の演出による。新シリーズにも期待しよう!

きりがくれうつせみのじゅつ【霧隠れ分身の術】 霧をただよわせ、その中に数体の影法師を出現させて、敵をまどわす秘術である。般若の婚許者であった妻風澪が得意とした技でその妹で般若に姉の仇とうらみ続ける、ともみも身につけていた。(27話)

くぐつのじゅつ【傀儡の術】 忍びの技の中でもおそるべき高度なもので、通称・人操りの術。風間三姉妹の前に初めてあらわれた陰の忍び、音羽の十郎が使う。深夜、ディスコに集まる若者を集団で、くぐつの術にかけ犯罪や事故をひきおこさせた。音羽の十郎を破った唯は三代目としての一番手柄となったが、視聴者が作戦に失敗した陰の忍びには死のみが待っていることを知ったのも、このエピソード。つまり、翔・オトヒ・ミヨズが初登場した回なのです。(3話)

くじのいん【九字の印】 臨(りん)・兵(ぴょう)・闘(とう)・者(しゃ)・階(かい)・陣(じん)・列(れつ)・在(ざい)・前(ぜん)と唱えながら、それぞれ違った形に指を組んで行く。風魔に伝わる正義の呪文である。その意味は読んで字のごとく、「闘いに赴く時には、先ず兵より前に大将が立つべし」という、戦(いくさ)に出る自分のもしくは戦場へ出向く武者の心をひきしめる時に用いられる言葉である。

くさ【草】 正しくは〝陰の草〟という。それは日本中に散らばり、その土地に住みついていく忍びのことだ。草の使命は、その土地の情報を集め陰へ送ること。それと陰が動く時は色々な下準備をしなくてはならない。この草の使命は親から子、子から孫へとひきつがれていく。その土地に住みつき、根をおろし情報を吸いあげていくから、草と呼ばれるわけだ。陰がプロフェッショナルの忍び(忍びを正業としている)なら、草はセミプロといったところだろう。ストーリーの展開では、六道衆あたりまではプロの忍びの存在が大きかったのだが、19話の安夫、20話の成美から草の存在が強調されるようになっていった。由真の中学時代の初恋の相手である安夫は父が草で、兄は草であることに目覚め、自分の通う大学をつぶす情報を陰に流して、それに成功する。安夫も自分の通う高校をつぶす情報を流さなくてはいけなかったのだが、結局

あれっ、どこかで見た家だ……そう左はペットントンのネギ太の家なんだよ

風間家をはじめこうした家の外観は一般の家を許可をとって撮影させてもらっている。その家の人に迷惑がかかるといけないので、どこにあるかということは教えられないのです。

こんなセットを作るのにもしっかりとした資料集めが必要なのです

海覚上人の祠や陰のアジトの祭壇等を作るにも『密教事典』といった資料を参考にしており、いいかげんなものではない。これらは美術の安井丸男さん(「ジャイアント・ロボ」の時代から映画美術を担当している大ベテラン)ら美術スタッフによって製作されているもので、現場のセッティングでは大井監督もお手伝いしていました。

↑マーカーをこすりつけているのは、ピアノ線が光って、バレないようにするため。ちゃんと飛んでるように見せなくてはならないからね。

←おっと、由真ちゃんのアクビでぇ〜〜〜す！

特撮!?飛ぶ折鶴の秘密

結花の折鶴はピアノ線によって飛ぶ。本体はステンレス板製なので、そこに穴をあけてピンと張ったピアノ線をツツーッと行くわけなのである。般若の言葉のように「結花！鳥は羽ばたくものぞ！」なんてことはありません。紙の鶴じゃダメなのかというと、ある程度の重さがないと操演することができないのだそうです。

それが出来ずに陰に追われ、妹と共に風間姉妹にかくまってもらったわけだ。

くすのきりゅうにんぽう【楠流忍法】楠流忍法十三代目宗家の岡田久慶だけが知る技で、秘伝の毒「於宇」という毒の実を使う。これは幻覚、殺生、思うがままの万能毒でありながら、いまや絶滅したといわれる毒草である。唯は岡田の影となって月影の術を体験した。また唯は、この岡田とその孫娘・美沙の使う楠流忍法の体術をヒントに、テコの原理を学びとった。(9話)

ごにんのぶか【5人の部下】風魔鬼組の頭、風魔小次郎につかえる名うての忍びのこと。小次郎、小三郎、小助、小右太、それに陰にとりこまれ魔破羅となってしまった小源太の5人を指す。

ごほうかじのじゅつ【五方加持の術】陰の忍び、百襲(ももそ)が使う秘術。忍びを抜けようとした草の母子を使ってかけられたもので、母を殺された少年は、ヨーヨーの音とカーンの梵字が重なった瞬間にマスコット人形に仕掛けられた銃をその相手に向けて発射するように、術をかけられていたのである。(29話)

こんがらどうじ【矜羯羅童子】奴隷もしくは随順の意を持つ。八大童子の第七番目にあたり、制吒迦童子と共に不動明王の左右に位置する。恭敬小心の者とされ、天衣・袈裟をつけ、独鈷をささげ持つ。結花の折鶴は上下から見ると両羽の形に似るため、この独鈷を意味するのだろう。風間結花はその化身。

▲星流高校の図書館の中にある忍者資料コーナーは唯に忍術の勉強をさせた。城戸礼亜はそこの司書をつとめていた。

坂本組

スケバン刑事が警察に補導されちゃった??

↑警察署として使われた建物(中も)は「ドラゴンボール」や「北斗の拳」を製作している東映動画スタジオなのです。東京制作所と西友OZのすぐ前にあります。

死神小僧こと中井哲夫とチンピラの争いにまきこまれて警察に補導されてしまった唯、スケバン刑事でもこんなドジを踏むことがあるんだな…。この回の演出は斉藤由貴の「スケバン刑事」第1話の坂本太郎監督。IIIではこの5話と6話のみを担当されました。坂本監督は現在、スケバン刑事と同じフジ・東映製作による人気番組「おもいっきり探偵団」で活躍中。ちなみに星流学園の生活指導教師は小坂先生と相原先生（写真中央のメガネの男）である。

↑テレビや映画の撮影は、自分の撮り分は数分ですむのでも、出番が来るまで何時間も待たなくてはならない。小坂先生役の紀ノ川瞳さんです。

こんじきのなみだ【金色の涙】風魔の長老が語ったところによれば、180年から伝わる伝説に陰星があらわれた時に3人の戦士が集まり、戦士の頬を伝う金色の涙にこの世は救われるという。つま恋で3人がラストに流した涙をファンは今、そう呼んでいる。(34話)

さんめい【三明】宿明通、天眼通、漏尽通という三つの力のこと。この通力が一つになった時トゥリ・ヴィドゥヤーという力になる。

さんぞんいったいぞう【三尊一体像】風魔の里の奥の滝にあったもので、これで唯・結花・由真の梵字に秘められた意味が明らかになった。(34話)

さんみいったいこうげき【三位一体攻撃】魔破羅の部下・人妖を倒すために三姉妹が力をあわせて完成させた技。三方向からヨーヨー、折鶴、リリアンで攻撃をする。(33話)

しかんのじゅつ【止観の術】妄念を捨て、心を無にして観れば、すべてのものが止まって見える。その時に本当に正しい姿が見えてくる……という小次郎の教えを受けた、結花は陰の忍び山中七兵衛のコマの秘術を破った。(10話)

しどく【屍毒】動物の死体を腐らせ、その体液から作った毒。陰のカラテキッド、練道武昭はこの毒に倒れるが、唯によって解毒剤のカッパノミソギ草がもたらされた。練道は疲れて寝入ってしまった唯を見て「天使だな、その子…」と表現した。唯はカッパノミソギ草を知ったのは図書館の忍者資料コーナーで。

じゅもん【呪文】陰や果心居士が唱える呪文「アービラウンケン、ソワカ」この大意は「申しあげる、汝らの願いは成就せられた」というもの。これに対して、如来を発生させるための手印の呪文は「オン・タタギャド・ドハンバヤ・ソワカ!!」これらの手印等は、真言

↑天狗師範の矢で遊ぶ唯ちゃん。う～ん、もうおチャメなんだから……。

←死神小僧役の上野郁也くんの背中に弾着の仕掛けをつけているところ。これで血塗りがブワーッと飛び散る。失敗したらやりなおしがきかないので、スタッフの人の表情には厳しいものが感じられる。

→上田さん（背を向けている人）が着ているのはⅡのトレーナー。わーっ、いいナ。

アクションクリエーター 上田弘司さん

大野剣友会の上田さんは、「仮面ライダー」や「ゴレンジャー」などの東映アクションヒーローを数多く演じたキャリアを持っておりアクション指導を担当した。

陰のお兄さん達

↑大野剣友会のアクションスター達の着替えはなんと外で……だって中は唯ちゃん達、女性陣が使っていますからね。

↑これは文化財的に貴重な写真です。果心居士の佐川二郎さんがロボット・ハックであった証拠写真だから。

↑陰や草のスタイルにはいろいろなものがあったが、これはその代表的なスタイルである。大野剣友会のお兄さん達が大活躍しました。

☆「スケバン刑事」や「少女コマンドーいづみのアクションを担当する大野剣友会アクションスタジオではアクションスターを育てる養生所を開講している。63年4月より研修が始まる第3期生をただ今、募集中。（出願希望者は60円切手5枚を同封の上、下記まで。応募用紙と資料が届きます）　☎03（925）1012
〒178 東京都練馬区東大泉2－7－26
葵コーポ203 大野剣友会アクションスタジオ

密教で使われるものである。ちなみに、これらの呪文を聞いて、「ぐるぐるメダマン」や「レインボーマン」を思い出した人間は、絶対に20歳をうわまわっているはずである。さらに果心居士といって「快傑ライオン丸」のお師匠さんを想像した人は25歳はすぎているだろう……。

しゅぜんじ【修善寺】伊豆の温泉地であるがここにある八十八ヶ所めぐりという短歌を記した札の36番目の石碑にカーンの梵字がきざまれていた。まさか、36話だからということじゃあ……。歌は「いかばかり、波風荒き、海原も、法の船にて越ゆるうれしさ」俵万智の句じゃないよ。

しゅんかのじゅつ【春香の術】はとバスツアーに出た唯が能面忍者にかけられそうになった術。風にのって銀粉のような薬品をまき、敵をもうろうとさせてしまう。（17話）

せいたかどうじ【制吒迦童子】金矜羯童子と共に不動明王の使者で八大童子の八番目。童形で紅蓮色。頭に金剛棒を持つ。由真の編棒が金剛棒、そして編物は縛日羅をあらわすと思われる。風間由真はこの制吒迦童子の化身である。

せんにちごもり【千日ごもり】孫の唯のことを案ずる帯庵和尚は、鷲尾山で千日ごもりという荒行にはいっていた。千日の間は外界の人に会わず、何もしゃべらずにすごさなければならないという。帯庵は単なる唯の育ての親ではない。唯の母である奈津は実の娘なのだ。唯と翔にとって、帯庵は本当の〝じっちゃん〟なのである。

だいにちにょらい【大日如来】風間唯はこの大日如来となって、悪の天輪聖王とわたりあえる唯一の存在である。不動明王とはこの大日如来が一切の悪魔を降伏させるための怒りの相を表わしたものである。翔のバイの梵字は薬師如来をあらわす。翔が亡くなり、その魂が宿ると唯の梵字カーンはアーンクへと変化した。

てんりんしょうよう【天輪聖王】果心居士は陰星が月にかぶって出現する天輪のパワーをうけて、老人から美女の姿に変身した。これが天輪聖王である。ヴァジュラの剣を掌中におさめ、全世界を闇につつまれた陰の世界にかえようとした。

前嶋組

風間家の内部、翔のいる部屋は東京は大泉にある〝東映東京制作所〟のステージ（スケバンⅢは第10ステージ、でもⅠがとれて0になってしまっている）の中に作られたセットで収録されています。これらのセットは撮影開始から終了まで、そのままの形で保存されます。ただ、飾りつけにつかわれる小道具は他にある倉庫の中にあるので、普段はガラーンとした状態のままなのです。Ⅲ関係のセットはもう取り壊わされてしまったそうです。

↗走る唯ちゃんはロケバスの上にカメラを乗せて並走しながら撮影しているのです。右端に前嶋監督が巨体（失礼）をゆるがせながら走っています。

→翔の背後にあるコンピューターパネルにスイッチが入れられる。チカチカと光って、クリスマスの飾りのようです。電飾を点検しているところ。

↓52～53Pで紹介した風間家のダイニング。食事は結花が作るわけではなく専門の人が調理しているので、終了後はスタッフの胃袋へおさまるのです。

トウリ・ヴィドーヤ ヴァジュラを手にするために必要な力。三明の項参照。唯は一度はこの力を得るが、果心居士に奪われてしまう。

とびひこ【飛火炬】 忍者の通信手段。赤い煙は〝危険より身を守れ〟、青は〝集合せよ〟、黄色は〝すみやかに任務を遂行すべし〟という意味があり、結花・由真は子供のころに花火遊びと称して、小太郎よりその意味を教えられていた。（3話）

にんじゃしりょうコーナー【忍者資料コーナー】 星流学園の図書館の中にある。あらゆる忍者文献から忍び道具までそろっており、唯の忍びとしての学習室としての役割りをはたしている。もちろん、一般生徒はその存在すら知らない。

はぐれ しょう【羽愚列翔】 翔の陰におけるフルネーム。本来なら風間翔であったのに。登場したての頃は〝謎の美少女〟といわれた。

はちもんとんこうのじん【八門遁甲の陣】 魔道衆頭領、海頭入道風角が仕掛けたもので、必ずや死が待ちうけているという恐るべき罠である。風角が天狗師範とうり二つだったのは気になったが……。（スペシャル）

ひなにんぎょう【雛人形】 元々は小源太の家に家宝として伝わるものだったが、鬼組頭である小太郎に双生児の娘が生まれたことを祝して献上された。男ビナ、女ビナにはトウリ・ヴィドヤーとなる宿明通・漏尽通、そしてヴァジュラが封印された場所を示す地図が隠されていた。

ふどうみょうおう【不動明王】 大日如来の項を見よ。五大明王のひとつで、右手の降魔の剣はやがて唯が手にするであろうヴァジュラの剣をあらわしていた。左手の羂索（けんさく）は手甲があてはまる。

ふうまおにぐみ【風魔鬼組】 風魔の中でも最強の忍者があつまった派閥。地蔵組、水組というのもあるようだ。

ふうまけっかいのじん【風魔結界の陣】 風魔最強の秘術。六角堂にかくまわれた唯を果心居士から守るため、帯奄、般若、小次郎、権佐、練道武昭、東野成美の6人が独鈷を手にして九字の印を結び続ける。これは自分の命を砦として結界を作って風魔の頭領を守ろうとするもので、風魔忍法最強にして最期の術といわれる。（40話）

3人娘にバカ受けだった S・D消しゴム人形のフィギュア♥

撮影の事とは関係ないのだけど、バンダイの自販機で販売されているスケバン刑事の消しゴム人形は3人娘に大好評だった。特に結花姉ちゃんはお気に入りだったみたい。（結花は12種のうち1個しかないんだけどね）唯ちゃんは、こんなキャラクターがいっぱい出てくるマンガが読みた～いってました。

↑このオープンリールのテープレコーダーに唯の声がつまっているのだ。

棒のようなものはマイクなんです

映画の録音には演技といっしょに音声も収録される同時録音と後で声だけを入れるアフレコ（後期録音）があるが、スケバン刑事は前者の同録。長いさおの先に付いているのは、マイクなのです。本番の時は雑音が入ったらたいへんなので、全員〝シイーッ〟という状況になるのです。もちろん、一部アフレコもありますが。

スケバン刑事は次の劇場版でFINALを迎える

……そして撮影されたフィルムは、編集へ――

こうやって撮影されたフィルムは編集（フィルムやネガをつなぎ合わせる作業、撮影はストーリーの進行順に撮影されているわけではないから）の作業へまわります。ここに立ち合うのは監督だけ。30分といってもＣＦやタイトルをぬくと25分ぐらいになってしまうため、撮影されても使われない幻のカットも出来てしまうそうです。そして、完成後に試写を終えてフジテレビへ納品、全国へ放映ということになるわけです。右端は田中監督。

ふうまのさと【風魔の里】 風間小太郎が生れ育った風魔忍者の隠れ里。風間町という地名がつけられている。

ほうざんひじゅつ【茅山秘術】 人を呪い、死に導く恐るべき邪法。密教の修験道の流れをくむ者が使うもので、評判の占師になりすました陰の忍び宝珠（ほうじゅ）翠（みどり）が使った。宝珠は唯が陰にとらわれた者達を救う、救世主となるかもしれないと語った。

まげんのもり【魔幻の森】 この森の奥深くへ踏み入れると、陰にのみこまれるという。結花・由真も危く陰にされてしまう所だった。きっと果心居士の呪いの霊気で満たされている所なのだろう。

まはら【魔破羅】 結花・由真の本当の父。果心居士にさらわれた翔を助けようと魔幻の森へ入り、陰にのみこまれてしまった。そのために小太郎は結花・由真をひきとって自分の娘として育て、唯を祖父の元へあずけたのだ。

ぼんじ【梵字】 風魔のしるし。風魔は体のどこかに梵字のアザがうきでる。唯は額にカーン、結花は左手の二の腕にタラ、由真は右の太モモにタの梵字があらわれる。

ミヨズ オトヒと共に翔に仕える陰の女官。ふくみ針が得意技。唯の初恋の相手、風花良のエピソードで、星流学園に潜入したことがある。ミヨズのセーラー服姿が見られるのはこの回だけ！

ゆめあやかしのじゅつ【夢妖かしの術】 天妖の秘術。唯を翔の夢で苦しめた。（35話）

りくどうしゅう【六道衆】 土鬼、夜叉女、不動、二方髪といった連中だが、死んで土くれと化したり、日光によって姿が消えてしまったりと、どう考えても人間とは思えない連中ばかり……まあ、お方様があの果心居士ですからねェ。六道衆というのに四人だけなの？

'88年2月公開決定——劇場用長編

スケバン刑事 最後の戦い（仮題）

LAST BATTLE

10月20日クランクイン

監督・田中　秀夫
脚本・橋本　以蔵
主演・浅香　唯

……さて、その内容は——

2月14日に公開され、配給収入10億円を稼いだ劇場版「スケバン刑事」、その劇場版第2作の製作が10月下旬より開始される。前作の南野陽子にかわって、今回の主演は浅香唯となる。

「スケバン刑事Ⅲ」の後番組が、構想を新たにした「少女コマンドーいづみ」となったため、前回の劇場版のように歴代スケバン刑事の競演はなく、主役は唯・結花・由真の風間三姉妹（こういう表現はもう正しくないのかも知れないが）だけである。レギュラーで出演するのは依田の萩原流行と暗闇指令の長門裕之だけで帯庵などは出てこないようだ。

「スケバン刑事Ⅲ」の最終回の後をうけるストーリーとなるわけだが、副題の〝少女忍法帖伝奇〟がしめす忍者物としての内容は完結しているため、この劇場版第2作には忍者の設定は一切からまない。つまり、風魔とか陰は一切関係なく、三姉妹に梵字がうかびあがることもない。さらに唯はあの手甲・陣鉢というスタイルはやらないわけである。

それでは、どのような内容となるのであろう。この劇場版には「スケバン刑事・最後の戦い（ラスト・バトル）という仮題がつけられているが、その題名の通り〝スケバン刑事シリーズ〟のファイナルを飾るのにふさわしいものとなる。

テレビの最終回のラストでは、宮崎県大日村の達心寺に一人、身を寄せる唯。そこに、結花・由真が訪れ三人いっしょに暮すことになったというところで幕となったのだが、今回の劇場版では三人は東京での生活に戻っているばかりか、唯は再び暗闇機関の要請によりスケバン刑事として活躍しているところより始まる。

復帰した唯が所属するのは暗闇機関ではなく、新しく創設された青少年治安局という組織である。その局長をつとめるのが関根蔵人なる25歳の青年だ。彼は司法大学大学院生で天才の誉れ高き俊英。来年度、司法長官補佐任命が内定している。蔵人の著した『国守治安制度の完成』という本は国際司法学界で一大センセーションを巻き起こした。政府は来年度の司法庁入りを前に、彼の試案を試すべく、青少年関係の治安体制を一新すべく動き始めたのだ。こうしてかり集められたのが唯をふくむ女4人、男6人の学生刑事（＝スケバン刑事）によって構成された〝10人隊〟なのである。蔵人は10人の学生刑事を前にこう唱えた。

「君たちは全国の学園から僕が集めて来た頭脳、体力ともに最もすぐれたエリート達だ。皆をリードすべき指導者であると同時に完璧な戦斗マシーンなんだ。正義は僕が与えてあげる。いいか！君たちの力は正義なんだ！」

蔵人の命令によって、10人隊は次々と不良学生を襲撃した。暴走族、窃盗団、恐喝グループ、麻薬密売人と次々と検挙されて行く。

だが、そのやり方は不良学生が気の毒になるくらい非道なもので、唯以外の学生刑事は暴力の限りを尽くしたのである。あまりのひどさにがまんのできなくなった唯は、学生刑事を辞職し九州へ帰ってしまう。

九州の牧場へ姉たちを呼ぼうと考える唯。そんな唯に突然の悲報が入る。青少年治安局に潜入した依田が死亡したというのだ。さらに暗闇指令も反逆罪で連行されたという。依田がつかんだ青少年治安局の秘密とは……。

←前作の劇場版では、地獄城より帰還した唯を出迎える場面しか登場しなかった結花・由真だが、今度の「スケバン刑事・最後の戦い」では、たっぷりとアクションを見せてくれるだろう。さらに九州ロケなどをふくめて、前作を上回るスケールの大きな作品となるであろう。クランクインは10月下旬より開始される。

東京へ戻った唯。そして結花・由真を執拗につけ狙う学生刑事にいためつけられた不良グループ〝番外連合〟が絡んで、事件はとんでもない方向へと発展して行く。結花は傷つき、由真は敵に捕えられ、完全に孤立した唯は単身、新たなる強大な敵に挑んで行く……。

この劇場版ではスケバン刑事である唯が、同じ任務を持つ学生刑事と対戦するのが、最大の見せ場となるであろう。学生刑事10人隊の唯以外のメンバーも桜の代紋入りの超合金製ヨーヨーを携帯しており、さらにその中には刀がとび出すぶっそうなヨーヨーを持った連中までいるのだ。スケバンヨーヨー対スケバンヨーヨーの対決、これはまさに〝ファイナル編〟にふさわしいアクションとなることだろう。さらに学生刑事のリーダーである元スケバン、阿川瞳子。実質的には彼女は4代目スケバン刑事という存在にあたるわけだ。(他にみどり、諸星という名のスケバン刑事もいる)瞳子と唯の対決こそ、この劇場版のクライマックスとなる。そして、黒幕の関根蔵人はどんな手段をもって、唯を迎え討とうというのだろうか！

9人の学生刑事の背後には数十人におよぶ機動予備隊が控えており、さらに巨大な装甲車まで用意されていた。**まさに、今度のスケバン刑事は〝戦争〟なのだ!!**

劇場版の製作スタッフは、企画・前田和也(フジ)植田泰治(東映)、プロデューサー・中曽根千治、手塚治、角田朝雄(東映)、河井真也、石原隆(フジ)。脚本はこの夏に公開された「名門！多古西応援団」で監督にも進出した橋本以蔵、監督は前作の劇場版も手掛けた田中秀夫。そのほかのスタッフも、ほぼテレビと同じ顔触れとなるようだ。

主なキャストは前記レギュラーに加え、関根蔵人に京本政樹、阿川瞳子に藤代美奈子(富田靖子主演の映画「BU・SU」に主演)が決定している。

↑青少年治安局に配備されている装甲車。ベースは建築用のショベルドーザー(4輪)を改造して製作される。この装甲車のデザインは、美術の安井丸男氏によるもの。この装甲車は火炎放射と放水の2つの機能を持った砲座があり、これで不良学生達を一網打尽にしてしまうものである。番外学園にたてこもった学生達を袋だたきにするために出動する。「スケバン刑事」にも、こんなメカニックが登場するようになったとは……。

↓学生刑事は男・女とも特殊プロテクター、ブーツ、ヘアバンドで武装している。男・女のデザインは異なり、また瞳子だけは形の違うセーラー服を着用している。唯も冒頭の登場シーンではこのプロテクターを着けている。これらのコスチューム・デザインはB-CLUBの読者からプロの玩具デザイナー&イラストレーターとなった松川健一氏の手によるもの。このページのイラストは松川氏による。(デザインは製作の都合上、変更の可能性がある。)

■放送日／毎週木曜日午後７時30分～８時00分（フジテレビ系全国ネット）
■放映期間／昭和61年10月30日～昭和62年10月29日（全42話）、30分カラー
＊尚〝スペシャル〟４月23日放映）のみ90分。話数には含まれず。
■クランクイン／昭和61年８月26日、クランクアップ／昭和62年９月22日

ストーリー

世間では不気味な〝陰星〟と共に謎の一団が動き出していた。宮崎、達心寺で育てられた少女、風間唯は、育ての親、帯庵和尚から東京へ行くよう命ぜられる。東京で二人の姉と出会うが、三人の前で父、小太郎は爆発の轟音に消えてしまった。

暗闇指令が謎の般若面の男に、三姉妹の保護を依頼する。般若の罠を一致協力して脱出した三人は、彼から父、小太郎の事、三人が風魔一族の血を引いている事、そして〝陰〟と闘う宿命である事を知る。すべてを知った唯はスケバン刑事を襲名する。

スケバン刑事としての最初の指令が三人に下った。三姉妹は捜査を始めるが、結花、由真の二人は唯を妹とは認めず別行動を取ってしまう。結局それが原因で三人は陰の忍び、音羽の十郎を取り逃してしまう。だが十郎は謎の少女・翔に処刑される。

唯が星流学園に転校してきても、由真との中は悪くなる一方であった。そんな唯に依田と名乗る新任教師がつきまとう。唯は知らないうち活殺指頸拳なる技を会得する。一度は九州に帰る唯、しかし彼女は由真と妹の座を賭けて勝負を挑む決心をする。

気の弱かったケン玉好きの少年哲夫、彼は陰の手によって凶悪な〝死神小僧〟と変えられてしまった。哲夫は陰の命令により、星流学園に潜り込み生徒の抹殺を計画するが結花達によって自分を取り戻した彼は天狗面の男によって処刑されてしまう。

開平高校で連続して投身自殺事件が起った。般若から指令を受け高校に潜入した唯は、安子という生徒から「鈴かけの術」が自殺の原因と知らされる、が彼女もすぐに殺される。唯は犯人である生徒会長高岡と、結花が与えた鈴で対決し勝利を得た。

天上院滝子というスケバンが転校してきた、彼女は唯を探すべく翔に命ぜられた忍びだったのだ。由真、結花は倒され、唯は滝子を信じながらもプールで特訓をする。遂に対決の時、唯は滝子を倒し、彼女は水の中で爆死した。

唯のヨーヨーの腕はまだまだ未熟で、由真に怪我をさせる始末であった。般若の命により山にこもらされる誰、そこでいつか見たヨーヨー売りに特訓を受ける。山ごもりを終え以前より数段上の技と破壊力を得た唯は一歩成長したのだった。

次なる陰の忍者ハヤブサ、彼は米軍の戦闘術を得た者として、樆流の宗家に破門されていた。そのために得られなかっ〝於字〟の実を使った術を会得するため、彼は師匠の岡田の孫娘を誘拐する。唯の協力によって岡田は、美沙の救出に成功する。

翔の部下であるミヨズが星流学園に潜入した。唯は同じく転校してきた姉の幼馴染みの良に恋をしてしまう。しかしその頃より三姉妹は命を狙われる。唯以外は良を凝いはじめる。しかし良は、ミヨズの罠にはまった三人の代りに倒されてしまう。

三姉妹抹殺に呼ばれた６人の忍者〝六道衆〟その一・土鬼が、ヴァジュラを取り戻すべく三姉妹に挑戦してきた、罠にはまる結花、由真。そして唯は、持ってきた女ビナを奪われるが、般若によって取り戻された。

般若の正体が依田である事を知った三人は、自分達が戦っている理由を教えてほしいと迫る。彼は三人を海覚上人に会わせ風魔一族の宿命を教えさせる、海覚上人の話を聞いた三姉妹は、すべてを投げすてでも陰と戦う事を決意する。

唯の成績は芳しくなく、留年をかけて、追試を受ける始末であった。家では由真の邪魔が入るため、学校に泊り込んで勉強する唯に六道衆の、不動が襲いかかる。なんとか不動を倒す唯だが、試験の方は依田の、お情けで進級させてもらうのだった。

結花が変わった、街で悪事を働き、二人に風魔を抜けるよう勧めるのだ。実は本当の結花は六道衆の二人組、二方髪に捕えられており、目前の結花は偽者なのだ。それに気付いた二人は、姉妹の強い絆によって二方髪の術を打ち破るのだった。

唯のためにバイトをしている結花、由真の所に二人を知っていると言う登という名の男が現れる。話を聞くうちに、二人は彼が風魔の忍者の角膜を移植していた事を知る。その事を知った登は二人の元を離れ、目に浮ぶスケートリンクに向うが……

星流学園の生徒が、山下学園の総番である太田涼子の一団に襲われた、ついには結花、由真にも果し状がきた。由真は、結花を昔の恋人･誠に再会させるため一人で戦いを挑むが結局、結花の助けを借りてしまう。結花は間一髪、誠と会ったのだった。

三姉妹は般若から休暇として、はとバスツアーを受ける。がそれは三姉妹を試す計画だったのだ、風魔の忍者である乗客に捕えられる結花、由真。そして唯はバスで知り合った大介と二人で別行動を取る、彼は実は般若の探索専門の部下なのだが。

進級試験も迫った折、指令が届いた。陰の草、練道武昭を取り押えろ、と言う事なのだが結花は妹達の勉学を優先してほしいと言うが無視されてしまう。そう思っていた結花も、留年を気にしていた自分の不甲斐なさに気付き、練道を助けに行く。

由真の中学時代の恋人、安夫。彼の話によると、自分は陰の草の一族の者であり、掟を破って逃げてきたと言うのだ。一族の掟によって兄、孝夫に襲われる安夫、しかし孝夫は翔の部下に殺される。戦いの後、唯達は安夫より翔の手掛りを聞く。

安夫からの情報で、東野成美と接触した唯は懸命の努力で、彼女から翔の現れる日時を知る。そして唯はついに翔と対峙する。幻術に引き込まれるける唯!!そこへ礼亜が身代りになって死んでしまう。自分を悔やんだ唯は、戦う気力を失うのだが……。

礼亜が死んだのは自分のせいだ、と思う唯はますます弱気になってしまい、ついには暗闇指令に、辞表を提出してしまう。唯の心を取り戻すため、般若は帯庵和尚の居場所を教える、帯庵の自分に対する心を見た唯は、スケバン刑事として復活した。

三姉妹の前に現れた謎の女占い師、宝珠、彼女が唯に予言したものは、三姉妹の死であった。般若から、宝珠が陰の手下だと知り、宝珠と戦う唯。絶体絶命のピンチに唯の体から閃光がほとばしり、唯は救世主かも知れないと言い残して宝珠は消えた。

結婚式の日に引き裂かれた二人、浩一と行動を共にするうちに、それが陰の勢力拡大の作戦である事を拡大の作戦である事を知る。陰の仕組んだ偽の結婚式に、唯は花嫁姿で乱入し、花嫁の寿子の救出に成功した。そして二人は再び結ばれるのだった。

九州から唯をたよって来た少女、鳴戸新子。彼女は不動明王像を持っていた、それは唯が般若より盗むべく言われた物と同型であった。新子によると自分の方が本物で、その中にヴァジュラの秘密が隠れているらしく、陰もそれを狙っていた。

三姉妹の周りに現れる亡き父、小太郎の影。そして、風魔の忍びを〝裏縫いの鏡〟を使い次々と始末する、外法衆頭、牛頭、馬頭。次なる相手を唯と決め、馬頭は星流学園に潜入し、由真は二人に倒される。そこで彼女を救った者は父、小太郎だった。

三人が見た男は、実は小太郎の影武者である弥助であった。そんな時、唯は二人の罠にはまる、九死に一生を得たが、次には結花がやられ、そして唯をかばって弥助は馬頭と共に爆死する。怒りに燃える唯は新必殺ヨーヨーで牛頭を倒した。

星流学園に新任女教師・妻風ともみがやって来た、彼女は実は、自分の姉を殺した相手、般若を憎む、風魔の忍びなのだ。彼女は三姉妹に般若を凝わせようとするのが、それらはすべて、陰のまわし者の矢作の仕組んだことなのだが……。

ふと漏らした言葉から、唯は謎の男から交換殺人を言い渡される。それは自分が由真を殺す替りに唯達の子分である熊を殺せというものだった。暴漢に襲われる由真、実は彼は、熊によって再起不能に陥った柔道家、早乙女淳であった。

陰の忍び百襲の五方加持の術をかけられた、少年アキラ。彼は唯の家に引きとられていた。次々に襲い来る陰の忍び、怒る唯は、額に梵字を浮かせ、ヨーヨーを使っ戦ったが、それこそ、百襲の術が解き放たれるキーワードだったのだ！

翔の雄ビナを盗み出し、呪いをかける、呪道衆の十〇。しかし、苦しみだしたのは翔ではなく唯であった。唯達と接触した彼は、唯の雌ビナを使い再度術をかけようとするが、人形は陰に奪われる。雄ビナは取り戻すが、翔と唯の関係は一体……。

突如、三姉妹の前に現れた、第一空挺団コマンド多聞菊子、暗闇指令の命により三姉妹と菊子は土龍寺の朱礼院の正体を調査する。行く手をはばむ陰の八門遁行の陣に由真、結花は倒されてしまう、残った二人は切りぬける事が出来るだろうか？

《挿入歌》「ジレンマ」（第７話～）「シャドウ・ハンター」（第12話～）「シビアー」（第26話～)、「チャンスは一度だけ」（第28話～)、「哀しみのシャングリラ」（第34話～）

STAFF

原作 ― 和田慎二
（白泉社・花とゆめＣＯＭＩＣＳ刊）
企画 ― 岡　正
前田和也（フジテレビ）
プロデューサー ―― 中曽根千治
手塚　治（東映）
石原　隆（フジテレビ）
音楽 ―― 新田一郎
撮影 ―― 奥村正祐
池田健策
林　兆
村上俊郎
林　迪雄
照明 ―― 大須賀国男
関口弥太郎
上原　福松
篠崎　豊治
高橋　弘
美術 ―― 安井丸男
長野史子
石田良之
録音 ―― 熊谷良兵衛
岡田　忠直
編集 ―― 只野　信也
記録 ―― 佐々木禮子
井上かずえ
高橋久美子
山下　千鶴
佐々木礼子
甲斐　哲子
助監督 ―― 北村　義樹
高畑　隆史
武田　秀雄
山田　正
装飾 ―― 橋本俊雄（装美社）
装置 ―― 脇田紀三郎
選曲 ―― 秋元　彰
整音 ―― 川島　一郎
（東映仕上センター）
効果 ―― 原田　千昭
（原田サウンド）
照明助手 ―― 堀　直之
小田　和典
撮影助手 ―― 臼木　敏博
村川　聡
録音助手 ―― 中村　雅光
高野　泰雄
衣裳 ―― 東京衣裳
衣裳協力 ―― Ｊ－ａｎｙ
ＨＩＰＳ　ＲＯＡＤ
鳩サクラ学生服（小鳩産業株式会社）
㈱ナイキジャパン
美粧 ―― 木村美智代（サンメイク）
山田　まり（サンメイク）
アクションクリエイター ―― 上田　弘司
（大野剣友会アクションスタジオ）
制作担当 ―― 田辺　史子
進行主任 ―― 小迫　進
藤沢　克則
進行助手 ―― 高岡　博彦
現像 ―― 東映化学

CAST

浅香　唯 ―― 風間　唯
大西　結花 ―― 風間　結花
中村　由真 ―― 風間　由真
萩原　流行 ―― 般若（依田先生）
田中　浩 ―― 帯庵和尚
長門　裕之 ―― 暗闇指令
伊藤　敏八 ―― 風間小太郎
福永　恵規 ―― 城戸礼亜
滝　雅也 ―― ヨーヨーの師・権佐
森村　聡美 ―― オトヒ
屋敷かおり ―― ミヨズ
林　美穂 ―― 謎の美少女・翔

スケバン刑事III 少女忍法帖伝奇

フィルモグラフィー　エアチェックや再放送の時の参考資料にしよう!

話数	放映日	サブタイトル	監督	脚本	忍者
1	S61.10.30	登場／謎の三姉妹	田中 秀夫	土屋斗紀雄	風魔小太郎
2	11/6	忍びの血こそ姉妹の証しだ	田中 秀夫	土屋斗紀雄	般若登場
3	11/13	動きはじめた影／三代目の一番手柄	大井 利夫	橋本 以蔵	音羽の十郎、翔・オトヒ・ミヨズ登場
4	11/20	決闘//唯vs由真わちは弱虫じゃなか	大井 利夫	橋本 以蔵	
5	11/27	打ち破れ／魔のケン玉殺法	坂本 太郎	橋本 以蔵	死神小僧、鬼能道場天狗師範
6	12/4	鈴の音は地獄の使者か!?	坂本 太郎	土屋斗紀雄	高岡(鈴かけの術)
7	12/11	水の中に舞え／セーラー服の死闘	大井 利夫	我妻 正義	天上院滝子
8	12/18	炎の修業／これが究極のヨーヨー技じゃ	大井 利夫	橋本 以蔵 土屋斗紀雄	ヨーヨーの師・権佐
9	S62.1.8	ねらわれた秘伝奥義コマンドvs唯	前嶋 守男	武上 純希	楠流忍法ハヤブサ、楠流宗家・岡田久慶
10	1/15	ヨーヨーと口紅三代目の初恋	前嶋 守男	我妻 正義	風花良、山中七兵衛
11	1/22	土グモ一族の頭士鬼見参／	大井 利夫	橋本 以蔵 土屋斗紀雄	六道衆土蜘蛛一族の頭土鬼、希羅(妹)
12	1/29	明かされた風魔一族の宿命	大井 利夫	橋本 以蔵 土屋斗紀雄	海覚、六道衆の二・陽炎一族の頭夜叉女
13	2/5	動き出した大魔神、不動／	大井 利夫	武上 純希	六道衆の三・不動
14	2/12	強悪の結花三姉妹対決の日	大井 利夫	我妻 正義	六道衆の四・二方髪
15	2/19	瞳は忘れないスケートリンクの死闘	前嶋 守男	我妻 正義	野々佐伯(陰)
16	2/26	リリアン棒危うし／由真の一番長い日	前嶋 守男	土屋斗紀雄	
17	3/5	仕掛けられた死の罠唯のアブナイ休日	大井 利夫	武上 純希	田之上大介(小痕見の大介)
18	3/12	影のカラテキッド三大姉妹最大のピンチ	大井 利夫	橋本 以蔵	平歩の佐源太
19	3/19	対決の日近し//影の姫・翔を追え／	前嶋 守男	土屋斗紀雄	安夫、孝夫、令子(草)
20	3/26	唯、絶叫／礼亜、壮烈な死	前嶋 守男	我妻 正義	東野成美、高野彰(草)
21	4/9	三代目失格!?唯がヨーヨーを返す日	前嶋 守男	武上 純希	DCブランド八人衆
22	5/7	三姉妹の未来は死!?謎の女占い師登場	前嶋 守男	我妻 正義	柘植、宝珠
23	5/14	ウェディング・マーチは闇の調べ三代目の結婚!?	大井 利夫	武上 純希	飛燕の源次
24	5/28	わちは三代目を倒す／もう一人のサキ上京す	大井 利夫	土屋斗紀雄	
25	6/4	立ちつくす三姉妹／生きていた父!?	田中 秀夫	土屋斗紀雄	外法衆頭牛頭・馬頭、弥助
26	6/11	投げろ唯//逆転の新必殺ヨーヨー	田中 秀夫	土屋斗紀雄	〃
27	6/25	裏切者依田／その人は女教師	前嶋 守男	橋本 以蔵	妻風澪、妻風ともみ、矢作
28	7/9	交換殺人／狙われた由真	前嶋 守男	武上 純希	
29	7/16	小さな殺人者、唯暁に死す!?	大井 利夫	我妻 正義 神戸 一彦	百襲
30	7/23	第一部完結唯対翔・運命の戦い／	田中 秀夫	土屋斗紀雄	雷山衆・雷神・龍神・虎神、呪道衆
S	4/23	三姉妹最も危険な旅八つの死の罠	田中 秀夫	橋本 以蔵	魔道衆頭領、海頭入道風角、魔道衆緑覚(黒丸良也)

《主題歌》第1～8話「ハートのIgnition」、第9～21話「STAR」、スペシャル・22～31話「虹のDreamer」、第38～41話「Remember」

ストーリー

1話～30話のダイジェスト編。

雛人形を通して唯と翔の関係に疑問を持つ結花、由真、それは二人にとっても同じ事であった。苛立つ翔は三姉妹抹殺の為に最強の烈火衆を向ける。なんとか烈火衆を倒す三姉妹だが男ビナにカーンの梵字を見てあぜんとなる。謎の男魔破羅とは…。

唯は自分に与えられた謎を解く為、達心寺へと向う。そこに慈恵と名乗る僧が現れる。彼は魔破羅より使わされた三仙の一人人妖だったのだ／痛めつけられる唯、しかしそこに結花、由真が現れる。再び信頼を取り戻した三姉妹は人妖を倒した。

翔の額に梵字が浮き出した。がくぜんとする三姉妹に般若は風魔の里の長老を訪ねろと言う。里に向う三人の前に三仙の地妖が現れる。しかし唯は自分は陰ではないかという疑問がよぎり、戦えずにいた。しかし最後には三人で戦う事を悟るのだった。

三仙最後の刺客天妖の〝夢妖かし〟の術に、はまり陰に飲み込まれようとする唯、しかしどうにか耐える。天妖はオトヒ、ミヨズに唯を殺すよう命ずるが、唯が翔の妹であるがゆえ拒否、逆に自分達が処刑される。オトヒは最期に事実を唯に語る…。

翔が姉と知りがくぜんとなる唯を般若は修善寺に向わせる。そこで結花、由真は何者かに捕えられてしまうが、それは唯を試す為に仕組まれた事なのだ。それを見破った唯は、帯庵よりすべての事実を聞き動揺するが、試練に立ち向う事を誓う。

自分達に本当の父親がいる事を知りなんとか手掛りを得ようとする結花、由真は夢の中の父が叫んだ魔幻の森へ向う。そこに現れる魔破羅だが、何故か二人に手を出さない、そして遂に魔破羅は仮面を取った。その顔は二人の父、小源太であった。

陰に飲み込まれようとする結花、由真を助けようと、唯自らも魔幻の森へと向う。魔破羅と対決する唯、遂に小太郎の苦内によって、魔破羅は最後に陰により解き放たれ小源太となり命を引き取る。しかし結花、由真は唯を悲しみの目で見るのだった。

悲運の姉妹、翔と唯。遂に翔もすべての事実を二人の乳母八重により聞き出し、果心居士に憤りを感じる。唯の懸命の説得により翔は自分を取り戻し、果心居士と対決するが、命を失ってしまう。その時唯の梵字はカーンからアーンクへと変わった／

雛人形の謎を説く為に、風魔の里に向かう唯。そこには帯庵、そして昔の仲間達が待っていた。しかし果心居士の魔の手は里にまで及んでいたのだ。唯を守る為に彼らは自の命をかけた最初で最期の術である〝風魔結界の陣〟を使うのであった。

暗闇より天眼不動明王の事を聞き、勝知寺に向う三姉妹、そこで唯はトゥリ・ヴィドゥヤーを得る試練を受け遂にそれを突破した。その唯の目前で帯庵の予言通り結花、由真が異形の者たちに殺されてしまう。しかし唯は歩き続けるしかなかった。

遂にヴァジュラを抜く時がやって来た。しかし唯は般若を思うがゆえ、トゥリ・ヴィドゥヤーを失う。ヴァジュラを抜き天輪聖王となった居士に最後のヨーヨーを振り絞り戦う唯／その時、天を指したヨーヨーに稲妻が／すべての戦いを終らせる為に。

CAST

堀田真一	堀田真三
果心居士	佐川二郎
天輪聖王	小林亜也子
練道武昭	藤山健剛
東野成美	石崎文也
多聞菊子	伊藤かずえ
熊	小林栄二
ヒデ坊	池上晃一
五郎	河本　忍
西郷	坂東亀太郎
海覚	加藤　嘉
小次郎	三重街恒二
八重	谷本小夜子
ナレーター	来宮良子

スケバン刑事III 打ち上げパーティー

昭和62年9月25日PM7:00～

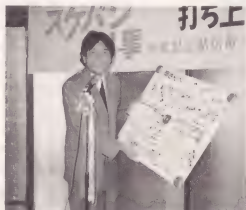
結花ちゃん おつかれさま スタッフ一同

唯ちゃん おつかれさま スケバン刑事スタッフ

すばらしき少女活劇(アクション)ドラマ スケバン刑事

フジテレビ編成局　映像企画部長

岡　正

TADASHI OKA

「スケバン刑事III・少女忍法帖伝奇」の製作に私がかかわったのは、第1・2話のシノプシス（大まかなストーリー作り）まででした。それと、もうひとつスペシャルの〝八門遁甲の陣〟のストーリーも私のアイデアによるものなのです。これはもともと2月に公開された劇場版用として出したものでした。スペシャルの基になっているのは「駅馬車」なんですよ。これに対して「ナバロンの要塞」で行こうという案もあって、結局こちらがあの地獄域となったわけです。忍者と密教をむすびつけたストーリー展開は、今までになかった路線を作り出せたと自負していますが、少々視聴者に説明不足の面はあったかもしれません。それから音楽の事ですね、唯の最初の主題歌「STAR」ではミキシングまでやりましたから。「スケバン刑事」シリーズは音楽面

第2部　魔界血戦編

話題	放送日	サブタイトル	監督	脚本	忍者
31	7/31	皆んな泣いた／　感動の名場面集			
32	8/13	現われた伝説の殺人マシーン魔破羅／	田中秀夫	土屋斗紀雄	魔破羅、烈火衆
33	8/20	引き裂かれた三姉妹　唯は妹じゃない／	田中秀夫	我妻正義 神戸一彦	三仙（天妖、地妖、人妖）
34	8/27	死闘の果て／　今運命の橋を渡る	大井利夫	神戸一彦	地妖、魔破羅、長老
35	9/3	鏡の中の唯	大井利夫	武上純希	天妖、魔破羅
36	9/10	伊豆の秘湯に隠された秘密	田中秀夫	土屋斗紀雄	風魔鬼組（小次郎、小三郎、小助、小右太）
37	9/17	いそげ唯／　悪魔の住む森の激闘	田中秀夫	我妻正義 神戸一彦	魔破羅、果心居士
38	9/24	やめて唯／　父さんを殺さないで	前嶋守男	我妻正義	魔破羅、果心居士
39	10/8	長いお別れ　もう一人の唯の死	前嶋守男	武上純希	法道衆、風魔一族
40	10/15	大洪水〃　風魔最強最後の術	大井利夫	武上純希	練道武昭、小次郎、東野成美、権佐
41	10/22	結花・由真の最期	田中秀夫	土屋斗紀雄	異形の者達、果心居士
42	10/29	麻宮サキよ永遠に　甦れ奇跡のヨーヨー	田中秀夫	土屋斗紀雄	天輪聖王（果心居士）

「スケバン刑事III」の打ち上げパーティーは、唯の最終撮影を終えた直後の9月25日金曜日、高田馬場千代田平安閣において行なわれた。スケバンIIIの後番組「コマンドーいづみ」や映画版もスタートしスタッフ・出演者大忙しの状況であったため、中村由真がスケジュールの都合で顔が見せられなかった。由真と結花の最終シーンは9月初旬に終っていたからね。

大西結花は少々遅れたものの、浅香唯は会場の7時からスタッフ出演者および関係者に元気な笑顔をふりまいていた。

会場では歴代スケバン刑事女優には恒例のプレゼントとなった、寄せ書きパネルが結花にもプレゼントされた。（IIではパネルをもらったのはナンノ一人だけだった、これは風間三姉妹の功績によるものだろう）結花には折鶴、由真のにはリリアン編棒がついていた。

そして、映像企画部長に栄転されたためIIIを最後にプロデューサーを離れられるフジテレビの岡正氏に、歴代スケバン刑事の父としての栄誉をたたえて、寄せ書きパネルと特製パネル時計（これは三姉妹にも贈られた）が渡された。

また、大井・前嶋両監督による花束贈呈、唯の司会によって進行されたビンゴゲームなどで「スケバン刑事III」最後の一夜はふけていったのである……。

→この夜の打ち上げパーティーで意外な（?）素顔を見せてくれたのが、陰の三人娘ともいえる、翔の林美穂、ミヨジの屋敷かおり、オトヒの森村恥美の3人。うーん、もっと写真を撮ってきたかったなあという心残りから、その翌日、林美穂ちゃんを特写することになったのです。

だけをとっても、たいへんに成功した作品だと思います。陽子の時はオリコンのトップになったのが映画版の主題歌でしたが、唯はもうそこまで達してしまったでしょう。それに結花や由真の歌もどれもベストテン入りですからね。これには一貫してイメージにあった詞を書いてくださった湯川れい子さんに感謝しますね。それから斬新な劇盤を作ってくれた新田一郎さんの力も大きかったです。斉藤由貴の「スケバン刑事」がスタートした時は、そういったイメージじゃいけない、こうやらなくちゃいけないんだと東映のスタッフの方とけんけんがくがくとやったのですが今、考えるともう3年前のことになるのですね……。

個人的には直接、番組作りをしたIIがいちばん愛着があります。あれだけ、和田慎二先生の原作を変えながらも、先生からは「陽子のイメージはサキそのものだね」と言っていただけたのがうれしかったですね。今だから、話せることなんですが、陽子はあんな鉄仮面を被るのは嫌だって、泣いたんです。でも、たいへん根性のある子だから、見事に麻宮サキを自分のものにしてしまったのです。この「スケバン刑事」シリーズというドラマが最大に評価されてよいと思う所は、30分という短いドラマの枠で、続々とスターを生み出したということでしょうね。過去のドラマが役柄に合わせて役者を選んだのに対し、このシリーズでは、その役を演じるタレントにあわせてキャラクター作りを行なったのが、特異性といえるでしょう。タレントの成長を見届けられるというのは、番組製作者として楽しいものです。彼女達が「スケバン刑事」を終えても、オヤジのようにしたって来てくれるのは、とてもうれしいですね。そしてこれからも、もっとBIGなタレントとして成長してもらいたいものです。

「スケバン刑事」はIIIで最後になりますが、私もこの作品を最後に製作現場を離れることになりました。しかし、私同様、「スケバン刑事ファン」の皆さんの心の中には、伝説の少女・麻宮サキがいつまでも生きつづけていることでしょう。

（昭和62年10月19日、フジテレビ内にて／談）

風間三姉妹に贈る言葉――

東映テレビ部
プロデューサー
中曽根 千治
CHIHARU NAKASONE

スケバン刑事IIIは、シリーズのI・IIと比較して、新しいジャンルの少女アクションが開拓できたと思います。それには風間三姉妹の功績が大でした。

まず、主役である唯ちゃん。三代目スケバン刑事に決定した時は、先代の由貴、陽子のようにカッコいい役だと思っていたら、九州から出て来た山猿のような少女という設定でがっかりしたのじゃなかったでしょうか。しかし、そんな不満もあらわさず、風間唯という役に取り組んで見事に自分のものにしてしまいました。彼女の天使のような微笑はテレビを見ている方達ばかりか、持ち前の明るさで現場のスタッフやキャスト達の心までなごませてくれました。

次に結花ちゃん。3人の中では演技の経験も豊かで、唯・由真という二人の妹役をよく盛り立ててくれました。まさに、役者としての立場でも長姉役をこなしてくれていたわけです。

由真ちゃんは役者としてもタレントとしても、まったくの新人でした。可能性のある少女とは思っていましたが、こちらの予想以上に成長しました。それに今までになかった新しいタイプのタレントとしてキャラクターを確立したようです。

この番組が1年という間、多くの人達に愛されてきたのも唯・結花・由真の3人が一致協力してやってきたおかげでしょう。3人には、10月下旬からクランクインする劇場用作品「スケバン刑事・最後の戦い（ラストバトル）」が控えていますが、これからもスケバン刑事の同窓生として仲良く、役者として歌手として末永く芸能活動を続けて行ってください。　（昭和62年10月24日）

ビークラブ・スペシャル⑫
「スケバン刑事III」
少女忍法帖伝奇
SUPER MATERIAL

発行日：1987年11月20日
発行人：山科 誠
編集人：加藤 智
製作：(株)バンダイ・出版課
〒160 東京都新宿区新宿2の3の13
大橋第1ビル6F
TEL03-350-8487
発行：(株)バンダイ
〒111 東京都台東区駒形2の5の4
TEL03-842-5151(代)
印刷：共同印刷株式会社
定価：1500円

ISBN4-89189-332-X C0076 ¥1500E

SUKEBAN DEKA III
SUPER MATERIAL

ISBN4-89189-332-X C0076 ¥1500E

定価1,500円

SUKEBAN DEKA
festival

SUKEBAN DEKA III
a Pictorial Magazine

ISBN4-89189-332-X C0076 ¥1500E

定価1,500円